

第十四回 衆議院精神病者監護法案審查特別委員會速記録

(第二號)

明治三十三年二月十六日(金曜)午後三時三十七分開議

○委員長(齋藤壽雄君) ソレデハ開會致シマス

○(花井卓藏君) 私ハ説明ハ理由書ニ掲ゲラレテアル通りトシテ、別段更メテ承ラズ直ニ質問ニ致シタイノデアリマス、第一ニ御尋ネ申シタイ事柄ハ、此精神病者監護法ト云フモノヲ制定セラレタル理由デアアル、即チ立法上ノ理由ヲ承ルノデアアル、其立法上ノ理由ト云フモノハ、法理上ノ理由ヲ承ルノデナクシテ、如何ナル歴史ト如何ナル必要ヨリ、新タニ此法律ヲ制定セラレタカト云フコトヲ承リタイ、行政法ト云フ少シク語弊ガアルカ知レマセヌガ、行政手續トモ名ケラレベキ明治二十七年四月ノ警視廳訓令第二十五號精神病患者取扱心得、ソレカラ明治二十七年四月ノ警視廳令第二十五號精神病者制縛鎖銅又ハ入院手續、ソレカラ明治二十七年十二月警視廳乙第十二號達認可ヲ受ケザル瘋癲人入院不相成件ノ達、ソレカラ明治十七年一月ノ警視廳乙第一號達瘋癲病院視察ノタメ主務官吏派遣ノ件ト題セラレタル達、竝ニ瘋癲人ヲ取扱ヒタル警察署ヨリ區役所戸長役場ヘ通知ノ件ト題セラレタル明治十五年十二月東京府丙第四十一號達、ソレカラ東京カ巢鴨病院ヘ施療又ハ自費入院出願手續明治二十七年四月東京府告示第三十二號、ソレカラ在監人及別房留置監刑期滿期ニ至ル傳染病若クハ精神病ニ罹ル引取人之ナキ節取扱ヒ方ト題セラレタル明治二十九年四月警視廳訓令第一四五號ト云フモノガ、東京府下ト云フ地方ニ限リテハ定メラレテアルノデアリマス、殊ニ此精神病患者取扱心得ト掲ゲラレテゴザイマスル第二條第三條第四條ソレカラ精神病者ヲ制縛鎖銅又ハ入院手續ニ對シテハ、警視廳令第二十五號ト云フヤウナモノハ、殆ンド此精神病者監護法即チ本案ニ掲ゲテアル、幾部分ニ定メラレタヤウニ見ヘルノデアアル、而シテ東京府ナル一地方ニ於テ斯ノ如キ規定ガゴザイマスル以上ハ、内務省ニ於キマシテモ、十分ニ是等ノ監督ハ行届イテ居ルモノト信ジマスルカラ、各地方ニ於テモ是ニ類似ノ規定ト云フモノガアルダラウト思フノデアアル、又ナケレハナラヌ筋デアラウト思フノデアリマス、精神病者ヲ抛リ放シニセラレル如キ、行政ノ緩慢ナル事柄ヲ信シナイノデアアル、斯ク行政手續ノ上ニ於テ規定セラレ、若クハ規定セラレテ居ルト信ジ得ヘキ關係ガアルニモ拘ハラズ、殊ニ此立法ヲ立テラレタノハドウ云フ理由デアアル、若シ又或ハ精神病患者ト雖モ、之ヲ制縛シ之ヲ鎖銅スルト云フヤウナ事柄ハ、即チ人身ノ權利ノ上ニ響ヲ來スト云フヤウナ事ヨリシテ、即チ其人ノ個人上ノ權利ヲ重ンゼンケレバナラヌベキ筋デアルト云フ關係カラシテ、或ハ又斯様ナモノヲ其儘棄置クト云フ事柄ハ、社會ガ迷惑スルト云フ點ヨリシテ、法律ノ規定ヲ以テ果シテ是等ノ關係ト云フモノヲ定メヘキモノデアルト云フ趣意デ、此法律ノ立法ヲ企テラレタモノトセバ、今日マデ現ニ廣イ意味ニ於テノ行政令ト

シテ出テ居ル、此精神病患者取扱心得ハ、法律ニ背イテ居ル不法ノ命令デアルト云フコトヲ認メニナルカ、ドウカト云フコトヲ承ハリタイ、ソレカラモウ一個條ハ、民法ノ第七條ニ「心神喪失ノ情況ニ在ル者ニ付イテハ裁判所ハ本人配偶者四親等内ノ親族、戸主、後見人、補佐人、又ハ檢事ノ請求ニ因リ禁治產ノ宣告ヲ爲スコトヲ得」ト規定セラレテアル、即チ心神喪失ノ情況ニ在ル者ハ民法上ノ所謂能力ヲ制限シテアルノデアアル、而シテ此心神喪失ノ情況ニ在ル者ト云フマデモナク、精神病者デアアルト云フ事柄ハ疑ヲ容レヌノデアアル、民法ニ幾多ノ法文ヲ設ケテ、此心神喪失ノ情況ニ在ル者ニ對スル關係ト云フモノガ規定セラレテアルノデアアル、規定セラレテアルノミナラズ、然カモ綿密ニ規定セラレテアルノデアアル、サウシテ是等ノモノノ爲シタル法律上ノ關係ト云フモノハ、民法一律ノ下ニ總テ理解セラレテ居ルヤウニ、自分共ハ存セラレマスルノデゴザイマス、而シテ之ヲ保護スルト云フ上ニ於テ、民法第八條ニ掲ゲテアル如ク「禁治產者ハ之ヲ後見ニ付ス」ト書イテアル、即チ禁治產者ニ對シテ後見人ト云フモノハ、取リモ直サズ此精神病者監護法案ニゴザイマスル監護義務者ノ責任ヲ負ブルガ如クニ、民法ニハ規定セラレテアルノデアアル、然ルニ何ヲ苦シテ特ニ法案ヲ提出シテ、民法ニアル第七條第八條及是ニ牽聯スル禁治產者竝ニソレニ對スル後見人ノ制度、別言セバ後見人ハ監護義務者デアアル、監護義務者ト云フモノ、制度ヲ二重ニ規定セラレルト云フ必要ガアルノデアアルカ、併ナガラ此禁治產者ト云フモノハ精神病者デハナイノデアアル、精神病者ト書イテアツテモ、是ハ民法ノ所謂禁治產者ト云フ意味デハナイノデアアルト云フ事柄ニ相成リマスルト、民法第七條ニ掲ゲラレテアル心神喪失ノ情況ニ在ル者ト云フモノガ、其範圍ト云フモノガ極メテ限定セラレテアルモノト見ナケレバナラヌノデアアル、併ナガラ民法ノ解釋トシテ心神喪失ノ情況ニ在ル者ハ、取リモ直サズ精神病者ト云フ事柄ニ見ルコトガ出來ルノデアラウト思フノデアアル、即チ民法第七條ノ心神喪失者ト云フモノハ、此民法案ニアル精神病者トハ違ウノデアアルカドウカ、違ウト云ヘバドウ云フ點ニ於テ違ウ、法律關係ニ於テ事柄ガ違ウト云フノデアアルカ、或ハ事實ノ程度論トシテ違ウト云フ趣意デアアルカ、之ヲ一ツ民法ノ關係トシテ承ハラネバナラヌ、各條ニ付イテハ多ク民法ト衝突スルモノガアラウト思ヒマスケレドモ、ソレハ條文ニ這入ルニ從ッテ御尋子致シタイ、ソレカラ此法案即チ精神病監護法案ト刑法トノ關係ニ付テ尙質問セネバナラヌ、此法案ノ罰則ハ第十四條ノ如キ、或ハ十六條ノ如キ、十七條ノ如キ、十八條ノ如キ、十九條ノ如キ、二十條ノ如キ、刑ノ盛リ方ト云フモノヲ、長期バカリ定メテ居ルノデアアル、短期ヲ定メテ居ナイノデアアル、例ヘバ十四條ニアル「三年以下ノ重禁錮ニ處シ百圓以下ノ罰金ヲ附加ス」斯ウ云フ風ニシテ置イテ、何月以上何圓以上ト云

フ短期ガナイ、現行刑法ノ原則トシテハ刑ト云フノハ、長期短期ヲ定メテアルト云フ事柄ガアルノデアル、然ルニ精神病者監護法案ト雖モ、罰則ノ所ハ一ノ刑法デアル、性質上刑法デアル、其刑法ヲ普通ノ刑法ト異ニシテ、長期バカリ定メテ置クト云フ事柄ハ如何ナル譯デアルカ、即チ此法律ハ一般ノ刑法トハ特段ニシナケレバナラヌト云フ何等カノ理由ガアルカドウカ、ソレカラツレモ長期ノミ定メルト云フ事柄ガ一貫シテ居レバ、終始一貫シテ居ル此法案ナラバ私共議論トシテハ意見ヲ述ベマスルケレドモ、法案ノ軀裁トシテハ異議ヲ挾マヌノデアル、所ガ此法案ハツレガ一貫シテ居ナイノデアル、第十五條ニハ何ト書イテアルト云ヘバ「官吏公吏又ハ行政廳ノ命ヲ受ケテ公務ヲ行フ醫師本法ノ執行ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ是ヲ聽許シタル者ハ刑法第二百八十六條ノ例ニ照ラシテ處斷ス」ト書イテアル、所デ刑法ノ二百八十六條ヲ讀デ見マスルト云フト「裁判官檢察官官吏刑事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス因テ被告人ヲ曲庇シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス其被告人ヲ陷害シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ貳拾圓以上貳百圓以下ノ罰金ヲ附加ス若シ枉斷シタル所ノ刑此刑ヨリ重キトキハ第二百二十一條第二百二十二條ノ例ニ照シテ反座ス」斯ウ書イテアル、此二百八十六條ニヨツテ見マスルト云フト、刑ノ盛リ方ニ於テ長期短期ハ並ビ掲ゲラレテ居ル、即チ二箇月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ科ス、サウスルト此法案ガ法案中ノ刑法トモ名付ラレベキ刑ノモリ方が一貫シテ居ナイ、十四條十六條十七條十八條十九條二十條ハ、長期ヲ定ムルト云フ點ニ於テ同一ニ出テ居リマスガ、十五條ノ刑法ニ百八十六條ヲ引用セラレシ廉ニ於テハ、現行刑法ノ如キ長期短期ニツナガラアルト云フコトニナツテ居ル、是ハ立法ノ軀裁トシテモ甚ダカシキノミナラズ、此禁治産ハ一般ノ行政令定メテアルト云フ御話デアリマシタガ、サウスルト首尾ガ合ハヌヤウデアル、刑法トノ關係ニ於テ即チ此法案ノ一ト通りノ行政令ト名付ケ得ラレベキ關係、民法トノ關係、刑法トノ關係ニ付テ御説明ヲ請ヒ、且ツ歷史上、實際ノ理由ヲ承リタイ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 本案ヲ制定致シタル所ノ理由ハ、御話ノ如クニ各地方ニソレソレ規定ハアリマス、併ナガラ相當ナソレヲ世話ヲスルト云フモノ、アル精神病者ニ付イテハ、強テハ差支ヲ見マセヌガ、其世話ヲスル者ノナイ精神病者ニ付キマシテハ、世話ヲスル者ガ資力ガアレバ宜シイガ、ナイ場合ハ何處カラ金ヲ出スカト云フヤウナコトハ、備テ居ラヌ、偶東京府ニハ瘋癲病院ガアル、夫故此警察ナド見出シテ誰モ世話ヲスルモノガナイト云フモノガ、詰リ公立ニ入レテ瘋癲病院ニ入レテ始末ヲシテ居ル、公立ノアルハ東京ダケデアリマシテ他ニハアリマセヌ、ソレデ本案デハ左様ナ適當ナ世話人ノナイ精神病者ニ付キマシテハ、相當ナ始末ヲ付ケル途ヲ開クノガ先ツ一ツノ目的デアル、併ナガラ當ニソレ丈ノ目的デハ勿論ナイデ、

各地方デ精神病者ニ付テノ取締ノ規定モアリマスガ、ソレニ違反シタル者ノ處分ト云フモノガ、詰リ府縣令ニ於テ規定シ得ベキ罰則ノ範圍内デアル、然ル處ガ此精神病者ニ對スル取扱ニ付テ、共ニソレガ犯罪ニナルト云フ場合デアリマシタナラバ、隨分府縣令ノ範圍内ニ於テ科シ得ルヤウナ罰則ヲ以テスル取締ノ不十分ナル場合モ隨分アル、ソレデソレラニ對スル相當ナ罰則ヲ設ケルト云フヤウナコトハ、法律ニアラズンバ出來ナイノデアリマス、夫レカラ又各地方ニ此監視廳ノ如キモノニ類シタモノハアリマスルガ、併ナガラ勿論此區々ニナツテ居リマシテ、此精神病者ノ監護ト申スガ如キ、一個人ノ身體權利ニ大ナル關係ヲ持ツ事柄ニ付キマシテハ、一定ノ法律ヲ以チマシテ細末ノ處ハ勿論各地方ニ定メサシテモ宜シイデアリマスガ、大體ハ此中央ノ府令ヲ以テ規定スルガ相當デアラウト云フ處カラ、是ハ制定致スコトニナツタノデアリマス、ソレカラ又民法ノ關係ニ付イテ、大體民法デ精神病者ノ始末ハシテアルト云フ御話デゴザイマシタガ、民法デハ精神病者ト云フモノヲ先ヅ禁治産者ニ致スト云フコトノ手續ガ第一ノ規定ニナツテ、禁治産者ニナツタ時ニドウ云フ風ニスルカ、即チ後見人ヲ以テ保護セシメルト云フヤウナ規定ガアル、然ル處ガ此第一ハ此禁治産者トシテ後見人ヲ付スルト云フコトガ、今日ノ實際カラ申シマスルト、戸主ナラバ必要ガアル、併ナガラ戸主デナイ場合ハ、多クノ場合ニハソレガ必要デナイ、後見人ヲ設ケテ禁治産者ニスルコトガソレデ實際戸主デナイ場合ニハヤラナイモノガ多イ、夫故ソレラノモノニ對シテノ保護ト云フモノガ、後見人ヲ以テ民法ニ依テ保護スルト云フコトニハナラナイ、夫レカラモウ一ツハ後見人ヲ以テ保護スルニシテモ、禁治産者ハ既ニナリマシテモ、其保護ニ付イテ主トシテ規定シアリマスモノハ財產ニ付イテノ規定デアル、身體ニ付テノ規定ト云フモノハ、多クハナイ、勿論相當ノ監護ヲスルト云フコトノ義務ハ後見人ニアルニ相違ゴザイマセヌガ、監護ヲスルニ付テ監置スルニ付テ、監置シタ場合ニ、ソレガ最早監置ヲ解イテモ宜カラウト云フ場合ハ如何ニスルカト云フ點ニ於キマシテハ、ヤハリ是ガ關係者カラ申立テテ致シテ申請デモ致セバ禁治産ガ解ケルコトモアリマスガ、併ナガラ行政上カラシテ監督ヲシテ、而シテ必要ノナイ監置ヲ廢セラレルト云フヤウナ點ニ於キマシテハ、十分デナイノデアリマス、ソレデ一言デ申シマスレバ單ニ禁治産者ノミナラズ、禁治産者以外ノ精神病者ニ付テ、又總テノ精神病者ニ付イテ、身體上ノ保護ヲ致シト云フコトガ本法ノ主タル目的デアル、ソレカラ刑法ニ付テノ關係ヲ御答致シマス、本法デ長期ノミヲ定メテ短期ヲ定メナイト云フコトハ、ドウ云フ意見デアルカト云フ御尋ネデゴザイマシタガ、是ハ近來此法律ニ依リマシテハ往々此例ニナツテ居ルモノガアリマス、ソレデ本法ヲ定メマスルニ付キマシテハ、考ヘテ見マシタ處デ此上特ニ短期ヲ定メルト云フコトガドレダケ位必要ガアルカ、ドレダケ位ノ程度ニ定メタラ宜イカト云フ點ニ付キマシテハ、ドウモ適當ナ考ヘハナイ、刑法ノ例ニ依レバ三年以下ト言ヘバ……三ヶ月ト云フダケノ短期ヲ定メナケレバドレダケノ不

都合ガアルカ、本法ニ付テ三月ト云フダケニハ制限ヲシテ置カナケレバナラヌト云フ必要ガ考ヘ得ナカッタノデアリマス、ソレデ唯刑法ニ依ルト申シマスレバ、無論刑法中ノ三月ト云フコトニ定メテモ宜ヒノデアリマスガ、併シ一體ニ他ノ法律ガ總テサウ云フ例ニ是マデナッテ居ルナレバ、無論刑法ニ依テシナケレバナラヌノデゴザイマスガ、是マデノ法律ニ於テ必ズシモサウナッテ居ラナイト云フ以上ニハ、別段ニ短期ヲ定メテ三月ト定メタラ、適當デアラウト云フ理由ヲ發見致シマセヌデシタカラ、詰リ此短期ヲ定メナイト云フコトノ例ニ依テ斯様ニ制定致シ、ソレカラ十五條ニ付テノ御尋ハ大體此罰ヲ定メマスニ付キマシテハ、成ルタケ刑法ノ程度ニ依リタイト云フ考ヲ第一番ニ遣ッタノデアリマスガ、然ル所丁度適當スルト云フヤウナモノハ、此私擅監禁ニ付テノ罰、ソレカラシテ此官吏公吏ガ賄賂ヲ收受シタト云フ場合ト云フヤウナモノヨリ外ニ、其直接ニ之レニ適當スルヤウナ例モ發見シ得ナカッタ

ノデアアル、ソレヲ此十五條ノ官吏公吏ノ賄賂ヲ收受シタト云フモノニ付キマシテハ、御承知ノ如クニ刑法ノ一般官吏ノ場合ト、ソレカラシテ裁判官ノ場合ト云フモノガ區別シテ規定ニナッテ居リマス、ソレデ本法ノ實行ニ付イテハ官吏ハ殆ンド裁判官ノ地位ニ立ツガ如キモノデアラウト考ヘマス、如何トナレバ其結果ハ人ヲ監置スルト云フコトニナルノデアリマスカラシテ、他ノ普通ノ官吏ノ例ニ依リヨリカ、ヤハリ裁判官ナドノ例ニ依ッタ方ガ適當デアラウト考ヘマス、ソレデ裁判官ノ例ニ依ルト致シマスルト、此賄賂ノ收受ニ付キマシテハ、二百八十六條ノ規定ガアリマスノデ、ソレニ依ッタ適當デアラウ、然ラバ是レヲ特ニ又此二百八十六條ニ短期ガ規定シテアルカラ、之デハ不都合デアアル、ソレヨリ之ハ別ニ拵ヘテ二百八十六條ヲ引用シナイデ、特ニ茲ニ罰則ヲ掲ゲタ方ガ至當デアアルカト云フ點ニナリマスガ、先刻モ申シマスガ如クニ、短期ヲ定メル必要ガアルト云フコトヲ認メルト同ジク、短期ヲ刑法ニ定メテアルカラト云フテ、ソレヲ特ニ採ラナケレバナラヌト云フ必要ハ認メナイ、如何トナレバ刑法ノ短期ト云フモノハ殆ンド其左程ノ關係ヲ有タナイモノデアラウト吾々ハ考ヘル、三月以上三年三月以下シヤドウシテモナラナイト云フダケノコトハ發見シナイ、同時ニ又是非三月ト云フコトガ定ッテ居ッテハ用ルト云フ理由ハナイ、幸ニ此官吏公吏ニ付テハ二百八十六條ノ例ガアリマスカラ引用シテ、ソレニ依テ處斷スルト云フコトニ致シマス、ソレデ御尋ニナリマシタ要點ガ略ボ御答シタ積リデアリマスガ、或ハ落チテ居リマスカモ知レマセヌガ、尙ホ落チマシタラ御注意ヲ願ッテ御答ヲ致シマス

○(花井卓藏君) 今日現在ノ此行政法ニテ精神病者監護法トノ關係ニ付テハ、御辯明ノ趣意ハ分リマシタケレドモ、私ハ感服セヌノデアリマス、ソレハ議論ニナリマスカラ言ヒマセヌガ、此民法ノ關係ニ付テハ一ツ御尋申シテ置キタイ、一番大切ナ點ハ短ク言ヘバ、第七條ニ依テ「心神喪失ノ情況ニ在ル者ニ付テハ裁判所ハ本人配偶者四親等内ノ親族戸主後見人保佐人又ハ檢事ノ請求ニ因リ禁治産ノ宣告ヲ爲スコトヲ得」裁判官ガ禁治産ノ宣告ヲナシタ

者ハ、本法ノ所謂精神病者デアアルカドウカト云フ事柄ヲ明答ヲ得タイノデアリマス、而シテ此民法七條以外ノ者ニ於テ、尙ホ且精神病者ナリト云フコトカラ、此法律ヲ認メルノカ認メルナラバドウ云フモノカ、認メルナラバドウ云フモノガ是レガ當ルノデアリマスカト云フコトヲ、御尋ヲシタイト思ヒマス

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 此民法ノ第七條ニ掲ゲテアリマスモノハ、本案ノ所謂精神病者ノ中ニ包含致シテ居ル積リデアリマス、ソレデ其他ニ尙ホ精神病者ハアル積リデアリマス云フモノハ、此民法第七條ニ依テ特ニ請求致シテ、サウシテ禁治産ノ宣告ヲナスト云フコトニ付キマシテハ、之レハ精神病者ハ戸主デアルトカ、若クハ特別ノ財産ヲ有ッテ居ルト云フヤウナモノニ付キマシテハ、禁治産者ト云フモノニナルデアラウト思ヒマスガ、其他ノモノニ付キマシテハ特ニ禁治産者ト致スト云フコトノ格別ノ必要ヲ、今日ノ實況ガ見ナイコトニナッテ居ル、ソレ故ニ餘程ノ精神病者デアッテモ、華族デアッテ特別ノ財産ヲ有ッテ居ルト云フヤウナ場合デアリマシタナラバ、此禁治産者ノ宣告ヲナシテ、ヤハリ精神病者デ居ルノデアリマスカラ、寧ロ吾々ノ考ヘテ居リマスノハ此禁治産者ハ無論含ミマスガ、其他ノ方ノ者ガ却ッテ多カラウト思ッテ居ル位デアリマス

○(花井卓藏君) 尙御尋ネ致シマスガ、サウスルト此法案ニアル精神病者ト云フノハ、民法第七條ノ心神喪失ノ情況ニ在ル者ヲ含マレルノデアアル、併ナガラ苟モ心神喪失ノ情況ニアリシナレバ、禁治産ノ宣告ノ有無ニ拘ラズ、又其前後ニ拘ラズ、此法律デ以テ制裁スルノデスカ、即チ民法第七條ハ財産ニ關スル治産ノ權ヲナスダケノ事柄ヲ規定シテアルカラシテ、禁治産宣告ヲ得ザル精神病者モ幾ラモアルデアラウ、其得ザル部分ト得タル部分ト兩方ニ適用スルト云フ御趣意ノヤウニ承リマスガ、サウ解釋シテ宜シウゴザイマス

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 左様デゴザイマス

○(花井卓藏君) サウスルト尙更ニ進ンデ御尋致シマスルガ、先刻政府委員ノ言ハレタ、心神喪失ノ情況ニアル者モ含マレルト云フノデナクシテ、心神喪失ノ情況ニ在ル者ハ總テ精神病者デアアル、之レガ即チ精神病者デ唯宣告ヲ受クルト否トニ依テ、禁治産者トナルトナラザルトハ裁判ノ分界ハアルケレドモ、苟モ此七條ニアル者ガ精神病者ニ該當スルト信ズルノデアアル、サウ云フ風ニナリマス、私ハ治産ノ禁ノ宣告ヲ受ケタモノニ付イテ疑ヲ起スノデアアル、禁治産ノ宣告ヲ受ケタル心神喪失者、即チ民法ガ認メタ者、民法ノ第十七條ニ據ルト種々ノ規定ガアリマスガ、之ヲ例ニ引キマスルガ、第十七條ニ在ノ場合ニ於テハ妻ハ夫ノ許可ヲ受クルコトヲ見セズトアリマシテ、其第四號ニ夫ガ瘋癲ノタメ病院又ハ私宅ニ監置セラレタルキトアル、即チ民法ノ上ニ於キマシテハ瘋癲者ハ病院又ハ私宅ニ監置スル事柄ハ法律ニ認メテ居ルト云ッテ差支ナイト解釋シナケレバナラヌ、サウスルト此法案ニ據ラヌデモ監置ト云フコトハ茲ニ開カレテアル、十七條ノ場合ニハ出來ルト見ラレ

ルノデアル、然ルニ此規定ハソレヨリモ尙ホ廣イカラ此夫ガ病院又ハ私宅ニ
監置セラレタル場合ニ、妻ノ權利ニ關スル規定ト衝突スル懸念ガアル、ソレ
カラ此法案ハ元來精神病者ヲ保護スルノ目的デアル、即チ監置シテモ容易
ニ病ノ直ツタトキニ解カナカッタ場合ニ、此法律ニ據ラナケレバナラヌト云
フノデアル、禁治産ノ宣告ヲ受ケタ者ニアリテハ、此宣告ヲ取消スト同時ニ
完全ナル民トナル、ソレカラ禁治産ノ宣告ヲ受ケザル精神病者ハ、其病ノ
全治スルト同時ニ精神病者デハナイ、其全治スルト否トハ事實ノ判斷デ出來
ルカラ、サウスルト兩者孰レノ場合デモ精神病者デナイト云フコトガ判明ス
ベキ場合ハ、事實上法律上明ニ分ルノデアル、是ガ判明スレバ病氣デナイ人
ニナルノデアル、病氣デナイ人ヲ濫リニ監置スルノハ刑法ノ監禁若クハ毆打
創傷ノ罪ガ成立ツノデアル、サウスレバ此法律ニ特ニ罰則ヲ設ケルノ必要ハ
ナイ、サウシテ禁治産ノ宣告ヲ解クト云フコトハ、法律關係ニ於テ明カデア
ル、併シナガラ病ガ癒ツテ居ルカ否ヤト云フコトハ、裁判所ニ於テ事實問題
トシテ解釋ガ出來ルノデアル、サウスレバ刑法ノ適用ガ出來ルノミナラズ、
或ハ現ニ精神病者デナイ者ヲ監禁シタト云フ實例ハ、幾多モアルデアラウト
思フ、サウスルト云フト、此刑法トノ關係民法トノ關係ニ於テ照合ハナイダ
ラウト思フ點ガアル、ソレカラ刑ノ事柄ニ付イテハ、成ルベク刑法トノ權衡
ヲ保チタイト云フコトヲ申サレマシタガ、其權衡ヲ保ツナラバ十七條ヲ除キ
タル其他ノ罰則ニ於テ、權衡ヲ保ツヤウニスレバ宜シイ、刑ノ長期短期ヲ定
ムルコトハ、刑法上ニ於テ意味ナキモノ、ヤウニ辯ゼラレマシタガ、刑ノ目的
タル刑ノ範圍ヲ廣グスルカ狹グスルカト云フコトハ、刑法上ノ大問題デアル、
現行法ノ長期短期ハ屁デモナキモノデアルト見テ、立案セラレタノハ、隨分
オカシイ話デアル、若シ其位ノモノトスルナラバ、刑法ノ二百八十六條ヲ茲
ニ準用スル必要モアルマイト思フ、此條文モ長期ダケヲ定メテ書クナラバ、
何年以下ノ重禁錮ニ處スト書ケバ宜シイ、故サラニ茲ニ持ツテ來テ刑法ト權
衡ガ保タレタルト云フ解釋ハ出來マセヌ、刑罰權ノ刑ノ範圍ト云フモノ
ハ、屁ノ如キ輕イモノトシテ政府ハ見テ居ルノデアアルカ、ソレヲ確メテ置キ
タイノデアアル、來年ハ刑法改正案モ出ルノデアリマスカラ、政府委員ノ言ト
シテ確メテ置キタイ、ソレカラ制縛監禁ニ關スルモノト大ナル關係ガアラウト思フ
カラ、ドウカ御參照ノ上デ御答辯ヲ願ヒマス

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 民法ノ十七條ノ第三ハ夫ガ禁治産者デア
ルトキハ、妻ハ夫ノ許可ガ要ラナイ、第四ノハ夫ガ瘋癲ノタメニ監置セラ
ルトキハ、禁治産ニナツテナイ精神病者デアラウト考ヘル、其病人ガ監置セラ
レテ居ル場合ガアツタナラバ、其時分ニ妻ハ夫ノ許可ガナクテモ宜シイト云
フコトヲ揭ゲタノデ、第四號ハ事實トシテ夫ガ監置サレタトキトシテ云フ事
實ヲ舉ゲタノデアリマシテ、之ニ依テ瘋癲者ヲ病院又ハ私宅ニ自由ニ監置
シテ構ハヌノデアアル、然ルニモ拘ハラズ是ニ依テ特ニ許可ヲ得サセルヤウナ、

手續ヲサセナイト云フ精神デアルト云フマデニハ見ナイノデアッタノデアリ
マス、ソレ故ニ本法ガ第十七條ニ喰違ヒニナツテ居ルモノトハ考ヘナイ、ソ
レカラモウ一ツノ御尋ハ禁治産者ガ癒ホレバ、宣告ヲ取消サレルカラ、ソレデ
禁治産者デナイ、禁治産者デナケレバ其者ガ瘋癲病者デナイトコトガ明カデア
ルカラ、之ヲ監置スルハ自然監禁ニナルト云フ御意見デアリマスカ、ソレハ
如何デアリマスカ、既ニ此地方ナドニ許可ヲ得テ監置シテ居ルノハ、癪ツタ
ト云フコトハ明カニ分ツテ居ルノヲ知リツ、監置シテ置イタト云フナラバ、
刑法ニモ當ルデアリマセウガ、唯怠慢ニシテモウ癪リヤセヌカモウ癪リヤセ
ヌカト云フコトデ、注意ヲシナイデ過去ツタ、ソレデ癪ツテ居ルモノヲ一月
モ止メテ置イタト云フヤウナ場合デアリマシタナラバ、私擅監禁ト云フコト
ニハナルマイカト思ヒマス、ソレデ又サウ云フヤウナモノヲ罰セヤウト云フ
コトガ、本法ノ精神デハナイノデゴザイマシテ、サウ云フヤウナモノガアツタ
ナラバ、ソレヲ解クコトガ出來ル、病院カラ行政廳ノ手デ以テ取出サセルト
云フ丈ノコトガ出來ル、行政廳ニツレ丈ノ監視ヲシテ居ッテ、瘋癲者ヲ保護サ
セルト云フダケノ仕事ヲ行政廳ニサセヤウト云フノガ本法ノ精神デ、ソレヲ
スルノニ付キマシテハ普通ノ人ガ精神病者ガアルト云フコトニ付イテ、私宅
ニ監置致シテ居リマスト云フヤウナ場合ニ、ソレヲ必要ト認メル時分ニハ、
行政廳カラシテ醫者ヲ出シテ家ニ立入ッテ、サウシテ健康診斷ヲ致シテ見
ルト云フコトノ必要ガアリマス、ソレヲ致スノニハ行政廳ノ此立入ルト云フコ
ト、ソレカラ檢診ヲスル——醫者ヲシテ檢診ヲセシムルコトガアリマセヌ
トイカナイ、ソレデソレ等ノ點ヲ即チ本法ニ規定致シマシテ、サウシテ強制
ノ監督ヲサセマシテ、瘋癲者ニ不都合ノナイヤウニスルコトガ一ツ、今一ツ
ハソレハ一面ニ瘋癲者ヲ保護スルト云フ方、本法ハ又瘋癲病者ヲ保護スル
同時ニ、瘋癲病者ニ對シテ社會ヲ保護スルト云フ精神カラ致シマシテ、若シ
精神病者ガアル、ソレヲ其儘ニホツデアル、ソレガタメニ他人ニ危害ヲ加ヘル
或ハ危害ヲ加ヘルヨリハ風俗上大ニ障礙ヲ加ヘルト云フヤウナ者ニ就キマシ
テハ、行政廳カラシテ進シテ此監護者ヲシテ相當ナ保護ヲ致サセ、サウシテ
社會公衆ニ危害ヲ與ヘナイト云フダケノコトヲ致サセル、ソレ等ノ點ガ今日
ノ司法ノ規則ニ於キマシテ、何ヲ捕ヘテサウ云フコトヲ命ズルカ、又捕ヘテ
命ズルト云フヤウナモノ、ナイ時分ニハ、ドウスルカト云フコトノ點ニ於キ
マシテ、免角其完全ニナツテ居ラナイ、ソレ等ノ點ヲ完全ニスルコトガ本法ノ
一ノ目的、ソレカラ刑法ニ付テノ御尋ハ私が先刻申シタコトハ、此刑法ノ長
期短期ヲ屁ノ如クニ見ルト云フ譯ヂヤア決シテナイ、勿論ナルベク刑法ト權
衡ヲ得タ罰則ヲ設ケタイト申スコトガ、先刻モ申スルヤウナ精神デアアル、併
ナガラ元來何カ知ラヌ類似シタト云フヤウナ點ニ付テ、長期ヲ定メ更ニ短期
ヲ定メルコトハ、ドウスルカト云フ點ニナリマスカ、刑法デ三年以下ト云
フモノニ大抵ナツテ居リマスカ、ドウモソレガ三年以下ト云フコトニ最長ハ
ナルト分リマスカ、ソレハ刑法デハソレ——意味ノアルコトデアルトシマシ

テモ、本法ヲ定メマスルニ就キマシテ例ヘバ此十四條ニシマシテモ、是ヘ三
年——三箇月以上ト云フコトヲ入レナクチャアナライト云フダケノ必要ヲ
見ナイ、ソレモ先刻申シマスル如クニ、一鉢ニ今日マデノ法ガ總テ此三箇月
以上ト云フコトヲ入レルコトガ例ニナツテ居リマスレバ入レル、併ナガラ色
色區々ニナツテ居ッテ、今日ノ刑法ガ短期ト云フコトヲ採用シテ往ク例ニナツ
テ居リマセヌカラ、格段ナ必要ヲ見ナイニモ拘ラズ、短期ヲ附クルト云フヤ
ウナコトハ、却ッテシナイ方が宜カラウト考ヘル、併ナガラ刑法二百八十六
條ト云フモノハ、先ヅ本法ノ場合ニ適當致シテ居ルノデアリマス、之ヲ特ニ
三月以上トアルノヲ取ツテ仕舞ハナケレバナラヌト云フ丈ノ必要モ認メナカッ
タ、ソレハ刑法ニ適當シタ個條ヲ適用シテ致シタノデアリマス

○(花井卓藏君) ソレカラ第三條デスナ、第三條ノ三項ニ「行政廳ノ許可ヲ受
ケテ監置シタル精神病者ノ監置ヲ廢止シタル後三箇年内ニ更ニ之ヲ監置セム
トスルトキ又ハ民法第九百二十二條ニ依リ禁治產者ヲ監置セムトスルトキハ
行政廳ニ届出ツヘシ」斯ウアル、ソコデ民法ノ九百二十二條ノ第二項ノ規定ニ
依ルト「禁治產者ヲ癲癲病院ニ入レ又ハ私宅ニ監置スルト否トハ親族會ノ同
意ヲ得テ、後見人之ヲ定ム」斯ウ書イテアル、即チ監置ト云フ事柄ヲ爲スニ
就テ、親族會ノ同意ヲ得テ、後見人ガ定メルコトニ書イテアル、此法案ニ依
ルト斯ク定メラレタ上ニ、尙且ツ行政廳ニ届出ヲ一ツ餘計シナケレバナラヌ
事柄ニ相成ッテ居ルノデアリマス、所ガ法案ノ精神トシテハ、第一條ニモ掲
ゲテアルガ如ク、監護義務者ト云フモノハ定ッテ居ルノデアリマス、此法案
ニヨレバ後見人配偶者又ハ戸主、ソレカラ或ル場合ニ於テハ親族會ノ撰任者
ト斯ウ定メテアルノデアリマス、然ルニ此九百二十二條ト云フハ、ヤハリ親
族會ノ同意ヲ得テ後見人ガ監置スルト否トヲ決定スルコトニ相成ッテ居ルノ
デアリマス、サウシテ後見人ト云フ事柄ハ第一監護義務者ノ一人トシテ數ヘ
ラレテアル、サウスルト九百二十二條ノ後見人ト云フモノガ、親族會ノ同意
ヲ得テ私宅ニ監置スル場合ハ、民法上監置スルト云フ關係ニナツテ來ル、然
ルトキハ此後見人ガヤル場合ダケハ、此第一條ノ監護義務者ト九百二十二條
ノ後見人トガ、性質ガ違フカノ如クニモ見ラレルノデアリマス、ソレ等ノ關係
ト云フモノハドウ云フ具合ニ分解ヲ立ッテ往クノデアリマス、甚ダ是ハ迷
ヒ易イ條文デアラウト考ヘル、併ナガラ後見人ハ常ニ必ズ監護義務者デア
ルガ如キ趣意ナリトセバ、第一後見人ト云フモノガ監護義務者トシテ第一順
位者ニナラネバナラヌ答デアル、法案ニハ第一順位者ニ掲ゲテアルガ、但書
ニ依ッテ順位變更ト云フコトニナツテ居リマス、順位變更ト云フ事柄ニナル
ト云フト、先ヅ疑ヒヲ生シテ來ネバナラヌヤウナ理屈ニナル、其點ヲ一ツ御尋
ネヲ致シタイ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 本法デ監護義務者ト云フノハ、是ハ但書ニ
依ッテ順位ヲ定メ、後見人ノコトヲ定メテアリマシテ、詰リ禁治產者ニ對ス
ル後見者ガ監護義務者デアアル、ソレハ此民法ニ於キマシテ禁治產者ヲ保護ス

ルト云フコトハ、無論民法ニ依ッテモ本法ニ依ッテノ仕事ヲ致スト云フ側ニ於
テハ、其後見人ヲ監護義務者ト云フ名義ヲ下シテ、本法ノ手續ヲ致セルノデ
アリマシテ、畢竟其場合ニ於テ同シ人ニ持ッテイッテ、名前ヲ異ニシテ居ルト云
フダケデ、若シ監護義務者ト云フモノガ、後見人バカリデアラナラバ、本法ニ
監護義務者ト云フ言葉ヲ用ウルノデハナカッタガ後見人ニハ色々ノ場合モア
リマスカラ、監護義務者ト云フ名前ヲ用井タノデ、故ニ後見人ト云フ民法ノ字
ト、監護義務者ト云フ仕事ニ付イテ、少シモ抵觸スルト云フ憂ハナイ積デア
リマス、ソレカラシテ貴族院ノ修正ノ但書ニ於テ、雙方ノ同意ヲ以テ順位ヲ
變更スルト云フコトニナリマシタ、本法ノ但書ニ依ッテ順位ヲ變更致シマシ
タナラバ、其場合ニ後見人ガ後見人ナツテ戸主ガ前ト云フコトニ出テ來レバ、
其場合ニ於テ戸主ハ後見人ニ代ッテソレダケノコトヲスルト云フヤウナ譯デ、
本法ニ規定シテ居ル手續ヲスルト云フ地位ニ參ルノデアリマシテ、後見人其
人ノ本法ニ依ッテノ仕事ト云フモノガ、ソレタメニ左右セラレ、コトハナイ見
込デアリマス、ソレデ又此民法デ、九百二十二條ノ後見人ガ定メルトアリマ
スガ、後見人ガアルカナイカラ決定ヲ致シ、サウシテ監置ヲシヤウトスルトキ
ハ、行政廳ニ届書ヲスルダケノ手續ヲ致サスコトハ、是ハ後見人ガ定メルト云
フコトニ致シテ少シモ差支ハナイデアラウト思フ、九百二十二條ノ民法ノ規
定ニ依ッテ、後見人ガ斯ウくト云フマデノ仕事ヲスル、サウシタ上デソレナ
ラバ癲癲病院ニ入レルト云フコトニナレバ、行政廳ニ届出デルト云フコト即
チ行政上ノ手續ヲサセル、ソレハ敢テ民法ノ九百二十二條ノ二項ト抵觸スル
所ハナイ積デアリマス

○(花井卓藏君) 尙御尋シマス、今ノ問ハ斯ウ云フ疑ガ起ルノデアリマス、
即チ精神病者監護法ト云フモノガ二ツアリハシナイカト云フ疑ガアルノデ、
問ノ趣意ガ分ラナカッタカト思ヒマスカラ伺ヒマスガ、明白ニ本案ノ一條ニ
於テ監護義務者ト云フ者ガ定メラレテ、第一ヨリ第五ニ至ルマデノ後見人、
配偶者、親權ヲ行フ父又ハ母、戸主、親族會ノ撰任者ト、斯ウ定マツテ居ル、
是ガ精神病者ニ對シテハ監護療養ノ義務ヲ負ヒ、又監置ト云フ權利デア
ルカ、義務デアアルカ分ラヌガ、監置ト云フモノガ出來ルト書イテアル、ソコデ
第一條ヲ見ルト監護義務ノアル者ハ、是ダケニ限定セラレテ居ルト見ナケレ
バナラヌ、精神病者ヲ監護スルハ此五ツノ者デアルト見ナケレバナライ、
所ガ民法ノ九百二十二條ニ禁治產ノ宣告ヲ受ケタ精神病者ハ、其家年トカ自
宅ニ監置スルトカ、療養監護ヲスル所ノ監護義務者ト云フモノヲ後見人ニ讓
ラレテ居ル、政府委員ノ言フガ如キ廣キ意味デナクシテ、監置ト云フ監護同
様ノ義務ガ後見人ニアルト云フコトガ定メラレテ居ル、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、
禁治產ノ宣告ヲ受ケタ精神病者ノ監護法デアアルノデアル、故ニ後見人ニ對シ
テハ二重ノ規定デハナイカト云フ疑ガ起ル、後見人ト云フモノニ付イテ、後
見人ノ補ヒガ附ク趣意デ出來テ居ルモノカト見レバ、ヤハリ精神病者監護法
ト云フノガアル、後見人ガ監護義務者トシテノ規定デナクシテ、異リタル法

律ニ於テ稍々同一ノ規定ガアツテ、後見人ハドノ法律ニ從テ宜イカト云フ疑ガ起ル、順位ガ變更セラレタメニ、精神病者監護法ノ後見人ト云フモノハ、此法律デハ監護義務者デハナイト云フコトニナル、民法ノ九百二十二條ハ殺サナイノデアル、生キテ居ルノミナラズ、明確ニ存在シテ居ルト監護義務者ニアラザル後見人ガ、此監置ノコトヲ取行フコトニナルデアラウト云フノガ、私ノ問ナノデス、後見人ガ監護義務者ニナツテ居ラヌ場合ハ、衝突シナイデ旨クイキマスガ、此法案ノ如クスルトドウ始末シテ好イカ分ラナイコトニナル

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 本法ニ依ツテ後見人ガ置イテアルノデゴザイマスカラ、其者ガ他ノ戸主ナラ戸主ト話合デ、己ガ第一番ニ遣ル所デハアルガ、斯ウク云フ都合デアルカラ御前遣レ、宜シイト云フコトデアルナラ、詰リツレニ依ツテ戸主タル人ガ本法ニ依ツテ規定シタダケノ仕事ヲ行ツテ行ク、相當ナ監護ヲシテ行クト云フコトデアリマスレバ、即チ民法ニ依ツテノ後見人ノ職務ヲ盡シタト云フコトニナラウト思フ、本法ノ手續モ無論ツレデ保護モ出來ル譯ニナリマスカラ、民法ト抵觸シテ困ルト云フコトハアリマス、其場合ニ戸主ヲ監禁者ニシテ居レバ、民法ノ九百二十二條ニ依ツテ、監置スルノデアルト云フヤウナコトヲ申シテ參リマシテモ、ツレハ既ニ此本法ニ依リマシテ、同意ヲ以テ戸主ト云フコトニ致シテ居ル以上ハ、後見人自ラガ看護人トナツテ、然ル後ニ本法ニ依テ居出ヲシテ、サウシテ仕事ヲシテ參ラナイト云フト、到底此本案ニ違背スルト云フコトハナカラウト思フデス

○(花井卓藏君) 尙御尋ネ申シマスガ、私ハ寧ロ精神病者看護法ノ第一條ニ修正ガナカッタナラバ、アナタノ辯明ノ趣意モ立チ、ツレカラ民法九百二十二條トノ折合モ付クガ、此但書ヲ貴族院ニ於テ加ヘタメニ、後見人ガ居ラヌ場合ガ出來テ來ル、後見人ガ地位ヲ變更セラル、コトガアル、サウスルト此法律デハ看護ガ義務者ニナイコトガアル、自分ハ精神病者ノ看護人デナイト云ツテ居ラレルカト云フト、此第三條ノ第三項ニ依テ、民法九百二十二條ト云フモノヲ引用セネバナラナイ、ソレデ九百二十二條ヲ見ルト、ヤハリ後見人ガ看護義務者トシテノ規定ガアル「禁治產者ノ後見人ハ禁治產者ノ資力ニ應シテ其療養看護ヲ力ムルコトヲ要ス禁治產者ヲ癲癲病院ニ入レ又ハ私宅ニ監置スルト否トハ親族會ノ同意ヲ得後見人之ヲ定ム」即チ監置ト云フ事實ヲ行ヒ得ルト云フコトマデモ掲ゲラレテアル、サウナルト云フト、順位變更ニ依ツテ、例ヘバ配偶者ガ看護義務者トナツテ居リマス、其方監置ノ方法ハ此方法ニ依ツテヤラナケレバナラナイ、所ガ民法ノ所謂後見人ト云フモノハ、此精神病者ガアルト、民法ノ後見人ガ出テ、九百二十二條ニ依ツテ是又ノ權利ガアルト云フ理窟ニナル、一般ニ禁治產ノ宣告ヲ受ケテ居ナイトキハ疑ガ起ラナイケレドモ、御前ハ配偶者ダト云ツテ、精神病者看護法ニ依テ監置ノ權ヲ行ヒ、或ハ看護ノ義務ヲ行フダラウケレドモ、オレノ方ハ民法ノ規定ニ依ツテ後見人デアアルカラ、九百二十二條ダケノコトハ十分出來ルト言ハタトキハ、

後見人ノ衝突ガ此法ト民法ノ上ニ出テ來ル、サウ云フトキハドウ仕合ガ付クノデアリマス、裁判所デ決定スベキ標準モ何モナイ、看護義務ノ衝突トデモ名ヅクベキモノガ、出來ハシナイイカト云フ恐レガ生ジマスノデ、此但書ヲ削レバ旨クユトリガ付クダラウト思フ、此修正ハ意味ガ分ラナイ、此修正ノ意味ハドウ云フ理窟デ御同意ニナツタト云フコトヲ聽ケバ、此疑ガ釋ケルダラウト思フデス

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 御尤デアリマスルガ、唯今御尋ノ場合ハ後見人ガ先ヅ戸主ト同意シテ、オレガヤル所デアルガ、御前ガヤツテ呉レ、宜イヤリマセウト云フコトデ、同意シテ置キナガラ、民法九百二十二條ニ依ツテオレガ監置スル、御前ハヤル限リノモノデナイト云フコトヲ言フノハ、即チ前後矛盾シタ話デ、其場合ハ同意ヲ破ツタ話シニナツテ參テ、詰マリ同意ヲ取消シタト云フモノニナルト見テ宜カラウト思ヒマス、ツレデ能ク此事實ニ就イテ考ヘテ見テ行ツタナラバ、敢テ唯今ノ御話ノヤウナ抵觸ハアルマイト思ヒマス、デ此貴族院ノ修正ニ同意致シマシタノハ、民法ト抵觸スルト云フ譯デモナク、事實ニ於テ餘程便利デアラウト云フ考カラ、是ニ同意致シタノデゴザイマス

○(花井卓藏君) ケレドモ順位ヲ變更スルト云フ事柄ハ、アナタノ言フガ如キ輕イモノデハナイ、法律ノ規定ニ基イテ看護義務者ガ三人居ルナラバ、第一ノ順位ニナツタノダカラ、一旦頼シテ置キナガラ、後ニ文句ヲ言ツテ來ルヤウナ後見人ハアルマイト云フタ所デ、ツレハナイトハ云ハレナイ、順位ヲ變更セラレタ以上ハ、其人ガ看護義務者ダカラ……併シ同意シテ變更シタノデアルガ、元來法律ニ依リマシテ、後見人ガ第一ノ看護義務者デアアルカラ、其者ガサウ云フ……起シテ來ルト云フナラバ、前ノヲ取消スト云フコトニナツテ來ルノデアアル、サウスレバ其場合ニハ舊ノ通り、順位ヲ變更セラレタト云フコトニナルモノダラウト考ヘマス

○(丸山嶮峨一郎君) 此法案ノ義務者トシテ第一後見人トアルノハ、禁治產者トカ癲癲者トシテ特別ニ定メタ後見人デハナイ、ソレデ禁治產者ニ就イテハ、法律ニ定メタ後見人ト云フモノハ、此後見人トハ大ニ違フノデアツテ、法律上禁治產者ト云フモノガアツテ、特ニ其禁治產ニ就イテハ三名ノ後見人ガアル、サウシテ見ルト云フト、假令但書ガナイ場合デモ、先ヅ後見人デナイ一人ノモノガ今……其場合ニ後見人ガナケレバ配偶者ガ此法案ニ依ルト義務者ニナル、所ガ民法ニ依ツテ其者ガ禁治產者トナル時分ニハヤハリ後見人……サウスルト但書ガナクテモ初カラ本案ノ精神ト云フモノハ、衝突シテ居ルノデハナラウカト思フ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 御尋ノ趣意ハ要領ヲ得兼ネマスガ、詰マリ禁治產者デナイカラ、配偶者ガ禁治產者ト云フカ、若クハ禁治產者デナイニシテモ、後見人ガアレバ格別、ツレガナイト云フ場合ニハ、配偶者ト云フモノガ看護義務者ニナツテ居ル、ソコヘ持ツテ參ツテ禁治產ニシナクテハ始末ガ付

カナイト云フ所デ、禁治產ノ宣告ヲ受ケテ後見人ガ出來タト云フコトナラバ、
ソコデ其第一後見人タル人ガ、今度看護者ニナツテ來ル、恰モ配偶者ガ……
其次ニ親ガ親權ヲ行ツテ親ガ看護人ニナツテ來ルト云フモノト同シダラト思
フ

○(丸山嵯峨一郎君) サウスルト、民法ハ此法案ニ對シテ一ノ特別法ニナル
デスナ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 其御尋ハ困リマス、民法ガ此法案ニ對シテ
特別法デアルト云フコトハ妙デアリマスガ、此法律ト云フモノハ成ルベク民
法ノ趣意ヲ追フテ作ツタ、ソレ故ニ第一後見人ト云フモノヲ監護義務者ニ持
出シタ、然ル所ガ段々實際ノ方カラ考ヘテ見テ、後見人デハ却テ困ルトカ
後見人ガ困ル場合ハ少イデセウガ、配偶者ノ場合夫ガ精神病者デアツテ、妻
ガ監護義務者デアルト云フガ如キハ、隨分行政上ノ手續ナドヲスルコトニ付
イテ困ルダラウト云フ所デ、此但書ノユトリヲ付ケタ、付ケマシタ所デ此民
法ト當テ、執行上ニ考ヘテ見マスルト必ズシモ民法ヲ變ヘルトカ、牴觸スル
トカ云フヤウナ嫌ハアルマイト思ヒマス、兩方相立ツテモ少シモ悖ラナイモ
ノヂヤラウト思フ、或ハ之ガ二重ニナルト云フヤウナコトヲ仰セニナレバ、
例ヘバ此既ニ禁治產者ニ對シテハ後見人ト云フモノガ監護義務ヲ負フテ居ル
モノデ、ソコニ後見人ガ監護義務者ト云フコトハ、一方ニ言フデアルカラ宜
ヂヤナイカト云ヘバ、サウ云フコトモアリマスケレドモ、此法案ニ付イテノ
種々ナ手續ヲサセルニ付イテハ、一ノ監護義務者ト云フ名ヲ使ツテ規定シテ
ヤランケレバ、其者ハソレデ抛リツ放シテ勝手ニヤツテ宜シイト云フコトハ
出來ナイカラ、民法モ亦同意ヲ經テ後見人ガ定マルカラト云ツテアルノハ、勝
手デアルト云フ迄ノ事ノコトヲ保證シタモノデモアリマスマイ、行政上ノ手
續ヲソレニ行ハセルト云フコトハ、自ラ行政法上ノ問題デアルト云フ考ヘデ
アリマス

○(花井卓藏君) 尙御尋致シマスガ、但書ノ相互ノ同意相互ノ同意ヲ表示ス
ルノハ、ドウ云フ方法ニシテアルノデアリスカ、又相互ノ同意ヲ以テ順位ノ變
更ヲ爲スト云フ事柄ハ、何カ契約トカ何トカ云フ趣意デ、此案ヲ立テラレタ譯
デセウカ、行政廳ニ向ツテ相互ノ同意ヲ以テ順位ノ變更セラレタル場合ニ於
テハ、何様ノ手續ヲ要セヌ趣意ニナルノデセウカ、ソレカラ又第五號ノ規定
ニ「前各號ニ掲ケタル者ニ非サル四親等内ノ親族中ヨリ親族會ノ選任シタル
者」ト云フコトガ書イテアル、是ハ一號ヨリ四號ニ至ルマデノ者ノ無キ場合ヲ
豫想シテ掲ゲタ條文ナノデアアル、先ヅ此精神病者ガアツテ監護ヲセンケレバ
ナラナイ、監護義務者ヲ極メネバナラヌト云フ折ニハ、當然ノ第一ノ順位ニア
ル者ハ後見人、其後見人ト云フモノガ厭ガルト云フヤウナ場合ニナツタ折ニ
ハ、第二ノ配偶者、ソレカラ第三第四第五ノ者ニ往クト云フヤウニナルノデ
アリマスルガ、此但書ノ相互ノ同意ト云フコトガアルト、茲ニ掲ゲテアル順
位ト云フモノハ何ノ效モナサヌ、謂ハバ義務者選定ニ付テノ會議ヲ開クモノ

ハ、一號ヨリ五號ニ至ルモノデアアル、ソレ等ノ相互ノ同意ヲ以テ、順位ヲ定
ムルモノデアルト云フガ如クニ讀メルト思フ、ソレデナケレバ此但書ト云フ
モノガ第五號ノ次カ然ラザレバ格段ナル條文ニ據ラナケレバナラヌ、法文ノ
體裁トシテハ意味ヲナサヌジャラウト思フ、其邊ノ趣意ハドウカト云フコト
ト、相互ノ同意ト云フコトハ行政法ト云フ公法ノ上ニ於テ、四親間ニ契約ヲ
許スト云フ趣意ナノデアアルカ、ソレカラ又親族會ト云フヤウナ性質ノモノト
ハ違フト云フ事柄ハ明カデアアルケレドモ、是等ノ關係ト云フモノガ親族會ニ
讓ラヌノハドウ云フ譯カ、總テ親族會ニ讓ツテ居ル條文ハ精神病者監護法ニ
モ澤山アリ、民法ニモ澤山アル、斯様ナ關係ニナツテ居ルノニ、是レノミ斯
ウ云フ風ニナツテ居ルノハドウ云フ譯カ、マア相互ノ同意ト云フコトガサッ
パリ分ラヌ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 御答致シマスガ、則チ此相互ノ同意ヲシテ
順位ヲ後見人ガ換ヘタト云フ場合ニ於キマシテハ、其行政廳ニハ届出ヲサセ
ネバナラヌト思フ、サウシナケレバ行政廳ノ一番目ヲ付ケテ往クト云フ目
的ガ、更ニ定リマセヌカラ、ソレハ届出ヲサセル積リ、ソレカラ致スニ付テ
ハ、詰リ同意ヲシタ者ガ兩方デ同意ヲシテ、斯ウ云フ風ニシタイト云フコト
ヲ、連署ヲ以テ申出ダサセルト云フコトニセネバナラヌト思フ

○(花井卓藏君) チヨットソコデ御尋致シマス、其手續ガ命令ニ讓ルト云フ
ノデスナ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 左様デス、ソレカラ一ツノ御尋ネハ……

○(花井卓藏君) 相互ノ同意ト云フコトハ、何カ契約ト云フコトナデスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 民法ニ所謂契約ト云フコトハ少シ違フデ
ヤラウト思フデスガナ、併ナガラ免ニ角意思ノ合同ニハ相違ナイ

○(花井卓藏君) 行政法ノ言葉デハ相互ノ同意ト云フコトハドウ云フ言葉ニ
ナル、法律上ノ言葉ヲ以テ言ヒ現セバ……

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 法律上ノ言葉ハ別ニナイデセウ

○(花井卓藏君) 相互ノ同意ト云フノハ事實ナデスカラ……

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 法律上ノ言葉トシテドウ云フコトガアルト
云フコトハナイ

○(花井卓藏君) 契約ト云フコトデハナイノデスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 契約ト云フ言葉ハ用イマセヌデゴザイマ
ス

○(花井卓藏君) デハ相互ノ同意ト云フコトハ、行政法ニ認メラレテ居ル完
全ナ用語ト云フ御趣意デスナ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 完全ナ用語トハ思ヒマセヌガ、例ハアツタ
ラウト思ヒマス

○(花井卓藏君) モウ一ツ御尋ネシタイノガアル、此順位ト云フモノガ役ニ
立ツマイト思フ、相互ノ同意トナルト、詰リ監護義務者ノ種類ヲ掲ゲタモノ

ニ過ギヌヂヤナイカト云フ疑ガ起ルノデア

○内務省參事官(窪田靜太郎君) ソレハ非常ニ役ニ立タフト思ヒマスノハ、同意ヲシテ順位ヲ變更スルト云フ場合ハ、先ヅ是ハ例外ノ場合、普通ノ場合ニハサウ云フコトハ致サンデス、其場合ニ如何ナル順序ニツレガナッテ居ルカ、誰ガ先キヘヤルモノカト云フコトヲ定ムルコトハ、最モ必要ナコトト思フテ居リマス

○(花井卓藏君) サウスル茲ニ順位ヲ變更スルコトヲ得ト書イテアル、規程ハ、順位ヲ讓ルコトヲ得ト讀ムベキモノデスカ、但シ監護義務者相互ノ同意ヲ以テ順位ヲユズルコトヲ得ト云フ事柄ニ讀ミマス、何故ナレバ第一後見人、第二配偶者、第三親權ヲ云フ父又ハ母、第四戸主、第五前各號ニ掲ゲタル云々ト書イテアルノダカラ、第一ノ後見人ニ異議ガナカッタ折ニハ、第一後見人ニハ飽マデ監護義務者デアル、然ルニ第一第二第三第四第五ニ掲ゲラレテアルモノガ、ドウモアレシヤア往カヌカラ此順序ト云フモノヲ變更セネバナラヌト云フコトヲ言ヒ得ラレヌデスカ、ソレガ言ヒ得ラル、トスレバ、此一ヨリ五ニ至ルマデノハ順位ノ種類ヲ書イタモノト見ナケレバナラヌ、又若シ又後見人、第一義務者ガイヤダト云フ時ニハ、順位ガ換ヘラレル、第三義務者ガイヤダト云ヘバ順位ガ換ヘラレルト云フコトニナル、順位ヲ追フテユズルコトヲ得ト云フモノニ見ナケレバナラナイ、ソレナラバ順位ノ書イテアルコトモ必要デアルガ、第一ヨリ第五ニ至ルマデノ者ガ同意シテ、相互ノ同意ト云フ以上ハ、總テノ權利者ガ——共同ノ權利ヲ持ッテ居ルモノガ合同シタケレバ、契約ト云フモノニナルト解サナケレバナラヌコトニナル、相互ノ同意ト云フ此字ハ當リ前ノ契約ト云フコトヲ以テ解サナケレバナラヌ、サウ云フ理窟ニナルト餘程是ハ可笑シナ事ニナリハシナイカ、讓ルベキ場合デナケレバ順位ノ定メ方ト云フモノハ不必要デアラウ、ソレカラ又第二第三第四第五ノ者ガ一致シテ第一ノ者ハイカヌト云フノデ退ケルコトガ出來ルト云フコトニナルト、是ハ種類ヲ掲ゲタモノデアッテ、順位ヲ掲ゲタモノヂヤナイト云フ如クニ讀マレルノデア

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 其讓ルト云フコトノ御説ハ左様ニ細カク論定スル御話ニナルト云フト、果シテドレダケノ意味ヲ以テ御用井ニナッテ居ルカ、今直チニ了解ノ出來ナイノデゴザイマスガ、兎ニ角此戸主ト後見人トガ戸主ニ先ツ言ッテ、戸主ガ違ッテヤラウト思ヘバ即チ戸主ガ先ヘ立ッテ、其者ガ本法ニ規定シタ手續ヲスルト云フコトニナルノデアリマシテ、讓ルト云フコトニツレガナルデアリマスガ、ソコノ所ハドウモ少シ讓ルト云フ言葉ノ用井方ニモ依ルノデアリマセウガ、實際ノ意味ハサウ云フ意味デアルノデス

○(花井卓藏君) 尙ホ御尋致シマス、サウスルト極ク分ルヤウニ短カク云ヒマスガ、第一カラ第五ニ掲ゲテアルモノハ、相互ノ同意サヘアレバ順位ヲ變更スルノ權利ガアルト云フ規定デスカ、順位變更ノ權利ヲ、一ヨリ五マデ掲ケテアルモノハ、持ッテ居ルノデスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 權利ヲ持ッテ居ル權利ト云フ言葉ニハ、或ハ語弊ガアリハシナイカト思ヒマスガ、詰リツレダケノコトハナシ得ル、ナシテモ差支ナイト云フ意味デアリマス

○(花井卓藏君) 私ノ御尋申スノハ、順位ノ變更ヲ求ムル權利ガアルカナイカ、權利ガナイト云フコトニナレバ此規定ガ空文ニナル

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 後見人ガ例ヘバ己ハシタクナイカラ、外ノ者ニ是非變更シテ吳レト云フ權利ガアルカト云フノデスカ

○(花井卓藏君) サウヂヤナイデスカ、チヨット一例ヲ云ヘバ、後見人ガ監護義務者ニナッテ居ル、所ガ第四ニ書イテアル戸主ガ、アレデハ困ル、第五ニ書イテアル者ガソレニ同意シテ、成程アレデハ困ルト云フ即チ多數ノ同意ヲ以テ、第一ノ順位ニアル後見ヲ變更シヤウヂヤナイカト云フコトヲ、求メル權利ガアルカドウカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) イヤソナ意味ヂヤアゴザイマセヌ、詰リ後見人ト戸主ト先ヅ後見人ガ先ヘヤラウト云フダケノコトデ、遣リ方ガ惡ケレバソレハ又行政上デハ、ソレヲ補フ手續ハ規定シテアリマス

○(丸山巖峨一郎君) チヨット御尋致シマス、サウスル此相互ト云フノハ第一ノ後見ト第四ノ戸主ト、任意ニ兩人間デ變更スルコトガ出來ルト云フ御話デゴザイマスガ、チヨット此規定ヲ當リ前ニ效力ノアルヤウニ解シマスルト、第一第二第三第四第五マデ、是マデノ人ガ皆ナ寄ッテサウシテ同意ノ上ニ、誰カ極メヤウト云フコトガ兎ニ角有效ノ解釋ニナラウト思ヒマス、今ノ御話ニ依ルト後見人ト戸主ガ相談シテ、御前ガ不都合ナラ御前ガヤッテ吳レト云フト、直ニ效力ガ生ズルヤウデアリマスガ、若シサウデナク後見人ガ困ルト云フナラバ、其次ノ者ガ代ルト云ヘバ分ッテ居リマスガ、ドッチノ方ニ解釋スレバ宜シイノデアリマスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) ソレハ其後見人ト戸主トガ同意スレバ、戸主ヲ先キニシテサウシテ後見人ガ後ニ待ッテ居ルト云フコトガ出來ル積リナデス、順位ト云フ言葉ニ語弊ガアルカ知レマセヌガ、意味ハサウデス

○(丸山巖峨一郎君) スルト茲ニ後見人ト戸主ノ同意ガ出來タトナラバ、茲ニ配偶者ト或ハ親權ヲ行フ父母ト言フモノニ不具者ガアッタ場合ハドウデス

○内務省參事官(窪田靜太郎君) ソレハ到底戸主ト云フモノガ遣リ方ガ惡ルイト云フ日ニナリマスレバ、此後ノ方ノ箇條ニ據ッテ手續ヲ致シマスル、加之ナジズ即チ八條ニ據リマシテ、監置ノ仕方ナドガ不都合デアルト云フヤウナコトガアレバ、行政廳ガ手ヲ附ケマス、サウデナケレバソコマデ手ヲ附ケル必要ハナイカト思ヒマス、ソレデマサカ事實ニ於テハサウ云フヤウナ意味ノアルノニ、強イテヤルト云フコトモアルマイト思ヒマスガ……

○(花井卓藏君) 尙伺ヒマス、此但書ニ付イテノ關係デスカ、兎ニ角相互ノ同意ト云フコトヲ殊更法律ガ認メテ居ル以上ハ、相互ノ同意ヲナスベキダケノ機會ト云フモノハ勿論與ヘネバナラヌ、所ガ此精神病ト云フモノハ民法上

治産ヲ禁ゼラルル宣告ヲ受クル者ノ外ニモウツアル、此本法ノ含ンデ居ル

ノハ、所謂禁治産宣告外ノ精神病者ト云フモノガアル、其精神病者ト云フモ

ノハ、來ル何日己ハ精神病者トナルト云フコトヲ豫メ知ル者ハナイ、偶然起

テ來ルケレドモ、此精神病者ト云フモノハ危險デアルカラ、此法律ト云フモ

ノヲ制定シナケレバナラヌト云フコトニナルデアル、此法律ヲ制定スルト

云フコトニナレバ、先ツ何ノ義務者ト云フコトヲ、法律ヲ以テ始メカラ定メ

テ置クノガ宜シイト云フノデ、此趣意ト云フモノガ出來タノデアル、ソコデ

苟モ精神病者アルト、直チニ後見人ガ義務ヲ負フコトニナル、所ガ此案ノ如ク

順位變更ト云フコトガ設ケテアル場合ニ、一カラ仕舞マデ一致セザル場合、或

ハ後見人ガ受ケザル場合ニハ、免レルコトガ出來ルヤウナル其場合ニハ、監

護義務者ガナイノデアルカト云ヘバナイノデハナイ、監護義務者ガ居ラヌノ

デ、居ラヌト云フノハナイノトハ違ヒマスカラ、サウ云フ場合ニハ六條ヲ適用

スルト云フコトハ出來ナイ、六條ノ適用ガ出來ヌト云フト、同意ヲ得ザルニ

於テハ其精神病者ト云フ者ハ抛ツテ置カナケレバナラヌ、其本人ノ迷惑ハ勿

論、社會ノ危險ト云フモノハ夥シイ、ソレハ丸山君ガ前ニ尋ネラレタ如ク、

何レニシテモ民法トノ衝突ハ免レヌト思ヒマスガ、此事ガアルガタメニ本法

ノ目的モ達セラレナイヤウニ思ヒマス、其邊ハドウ云フ趣意デス

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 是ハ同意シテ變更シタノデハ格別デアリマ

スガ、其同意スルマデノ此順位ニ依ツテ後見人ガ見レバ即チ其者ガ義務ヲ負ヒ

マスル、急ニ事ガ出來タト云フヤウナ場合ニハ、無論後見人ガ其職務ヲ盡サ

ナケレバナラヌ、然ル後ニ同意シテサウシテ戸主ト云フコトニナツテ來ルナ

ラバ、ソコニ至ツテ義務者ニ立ツテ來ルノデスカラ、ソコマデハ決シテ義務

者ガナイノデヤアナイ、又順位ハ定マラヌノデヤナイ、順位ハ定マツテアル

○(花井卓藏君) 相互ト云フ事柄ハ、ヤハリ順位ヲ標準トシテ定メラレタル

文字デアツテ、即チ第一ノ後見人ガ厭ヤダト云フ折ニハ、其後見人ト第二ノ配

偶者トノ相互ノ意味ニナルノデアツテ、ソレカラ第二ノ配偶者ガ監護義務者

トナツテ厭ダト云フ場合ニ於テ、第三ノ親權ヲ行フ父母ト相談シテ讓ルト云

フ事柄ニ、此處ガ出來ルノガ相互デアツテ、斯ノ如クシテ、第三ト第四ト相

互、第四ト第五ト相互、斯ウ云フ風ニナルノデアリマスガ、或ハ又此相互ト云

フ字ヲ廣ク解釋シテ、全軀ノ意思ノ表白サレタモノト見ルノデアルカト云フ

コトヲ、一ツ明カニシテ前段デアルカ後段デアルカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 前段ノ方ノ意味デアリマス、但シ厭ヤダト

云フタカラ宜イト云フ譯ニハイカナイ

○(花井卓藏君) サウスルト、ヤハリ順位ハ讓レルト云フ意味デスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) マアサウデシヤウナ、詰リ便宜主義デス

(此時速記ヲ中止ス)

○(花井卓藏君) チョット御尋ネシマスガ、此貴族院ノ修正ノ但書ヲ削除スル

コトハ、政府ハ出來ヌデスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) ソレハ困ルデスナ、ソレハ一ツハ免ヲ願ヒ

タイデスガ

○(花井卓藏君) 第一條ノ監護ト、民法ノヤハリ同シ禁治産者ニ對スル監護

ト云フコトハ、法律上同ジコトデスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 民法ノ看護ハ無論此監護ノ中ニ含マレテ居

ルニ違ヒナイト思フ、併ナガラ本案ハ一面ニハ精神病者ヲ保護スルト同時ニ、

一面ニハ精神病者ガ社會ニ及ボス危害ヲ防グト云フコトヲ義務者ニ負ハセル

點ニ於テ、幾ラカ義務ノ範圍ガ廣クハナリハセンカト考ヘル

○(花井卓藏君) 本案ノ監護ノ中ニ精神病者ヲ瘥スト云フ事柄ハ、本人ニ保

護ヲ與フレバ社會ノ危險ガ減ルト云フ趣意ヨリスレバ、私人ノ關係ニ於テ又

公ノ關係ニ於テ、本案ノ目的ヲ達スルノト云フ、此看護ハ療養ト云フヤウナ

意味ヲ含マレテ居リマスガ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) ソレハ含ンデ居ル積リデアリマス

○(花井卓藏君) サウスルト本案ノ第二條ニ對シテ疑ガアル、此レニハ「監

護義務者ニアラサレハ精神病者ヲ監置スルコトヲ得ス」トアル、民法九百二

十二條ニ依ツテ見ルト、禁治産ノ宣告ヲ受ケタ精神病者ダケハ後見人ガ監置

ヲスルト云フコトニナツテ居ル、是ガ第一條ニ付イテ疑ヲ起シタト同ジク、

精神病監護法デハ所謂相互ノ同意デ監護義務者タルコトヲ免ガレタ人間ガ

アツテ、ソレガ後見人デアルト云フ場合ニハドウスルカ、誰ガ此精神病者ヲ監

置スルノデセウカト云フノガ一ツ、モウ一ツハ後見人ニシテ且ツ監護義務者

ト云フ場合ニハ、此法案ノ第一條ニ於テ監護ノ義務ヲ負ヒ療養モスルト云フ

義務モ含ミ、民法九百二十二條ニ於テヤハリ療養看護ヲ勉ムルコトヲ要スト

書イテアルカラ、後見人ニシテ且ツ監護者タル場合ニハ、ドツチノ法律ニ依ッ

テ義務ヲ負フカト云フコトニ付イテ疑ガ起ル、此二ツノ説明ヲ請ヒマス

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 是ハ第二條ノ監護義務者デナケレバ、精神

病者ヲ監置スルコトハ出來ヌ、無論民法ノ九百二十二條後見人ニ付イテハ

監置スルカシナイカト云フコトヲ定メルト云フ人ガ、自分ガ監置ヲシヤウト

思ヘバ、出來ルガ、併シ戸主ノ同意ヲ經テ戸主ガ監護義務者ニナツテ居ルト

云フコトデアリマシタナラバ、戸主カラ手續ヲ致シテ監護スルト云フコトニ

ナツテ來ル、其戸主ガ監置ヲ致シタノガ後見人ニ於テ同意ヲ致シタノデ、即

チ是ヲ法ノ方カラ見マシタナラバ、ヤハリ此後見人ガソレヲ定メテ、後見人

ガヤツタト云フダケデ、後見人ノ方カラ見レバ權限ヲ犯スト云フ譯ニハナル

マイト思フ、同意ヲシテソレダケノコトヲ致シタノデスカラ……ソレカラモ

ウ一ツノ御尋ハ、後見人ト同ジ人デアツタト云フ場合デアリマシタナラバ、即

チ本法ニ依ツテ手續ハ無論本法ニ依ツテ監護義務者トシテヤル、民法上ハ無

論後見人ガ致スノデアリマス、詰リ此後見人ト云フモノヲ本法デ規定シテ居

ル所デハ、即チ監護義務者ト云フ名前ヲソレニ附ケテ規定シテアルト云フ

ダケデアリマシテ、謂ハバ茲ニ持ツテ往ツテ若シヤルナラバ、第二以下ノ者

ヲ監護義務者ト名ケ、後見人ハ其別トシテ監護義務者及禁治者ノ後見人ト云フヤウニ並ベテ書イタニ因ッテ、同ジ意味ノ積リデアリマス、若シソレガ本法ニ規定シテ居ル事柄ハ、民法九百二十二條ト抵觸スルト云フコトニナレバ、或ハドチラニ依ルカト云フ疑ガ起ルカ知ランガ、抵觸シテ居ラヌ積リデアリマスカラ、兩方ノ法律ニ依ッテ後見人タル監護義務者ハ手續ヲシテ行フニ於テ、少シモ差支アルマイト思ヒマス

○(花井卓藏君) 抵觸シナイカラ疑ガ起ル、第一條ノ監護ノ中ニハ療養ト云フコトモ含ム、ソコデ民法第九百二十二條モヤハリ看護ヲ要スト書イテアル、チットモ衝突ヲシナイ、故ニ禁治產ノ宣告ヲ受ケタ分ノ精神病者ニ向ッテノ規定ガアルコトニナル、民法九百二十二條ト監護法一條ト同ジモノガ二アル、一人ノ後見人デ且ツ監護義務者ト云フ順位ニ立ッテ居ルガタメニ、此法律ノ規定ニ從ハナケレバナラヌト云フ場合ニハ、此後見人ハ後見人トシテ九百二十二條ノ規定ニ從ヒ、監護義務者トシテハ精神病者監護法ニ從ハナケレバナラヌト云フト、一人ノ義務者ガ二ツノ法律ノ支配ヲ受ケル、サウスルト禁治產ヲ受ケタ分ニ對シテ二ツノ法律ガアルト云ハナケレバナラヌ、或ハ精神病者監護法ハ廣イ意味デ禁治產ノ受ケタ者以外ノモノマデ含ムト云フノデアリマセウガ、サウスルトドチラニ依ルカト云フ疑ガ起ル、民法九百二十二條ニ規定ハ掲ゲテアルカラ、民法ニ對スル私權ト云フ關係ノミガ掲ゲラレテアルノダカラ、ヤハリ看護療養ノ義務ヲ負フト云フ事柄ガ書イテアル、サウシテ本案ノ第一條トチットモ違ハヌ、同一ノ事ニ對シテ、二樣ノ法律ガアル事柄ニナル、後ノ法律ガ前ノ法律ヲ打チ消スト云フコトガ原則デアラナラバ、民法ノ九百二十二條ハ消ヘル結果ニナルト云フ疑ガ起ルケレドモ、本案ト民法トハ文字ガ違フガタメニ、チヨット爭ヒガ起ルガ意味ガ同ジ事柄ニナルト、立法者ノ目カラ見レバ同ジモノヲ二ツ出シタト云ハナケレバナラヌ、ソレハドウ云フ譯カ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) ソレハ先刻モ申ス如クニ、監護ト云フ本案ニ所謂監護ト云フ中ニハ、幾ラカ別人ニ對スル社會ニ對スル危害ヲ豫防シナケレバナラヌト云フコトノ義務マデヲ、實ハ含ンデ居ルノデアッテ、監護ト云フ言葉ノ中ニハ、ソレデ幾ラカ此民法九百二十二條ノ看護ト云フコトヨリカ廣イ積リデ居リマス、此療養看護ト云フコトモ看護ト云フコトニナレバ、自ラ多クノ場合ニ對スル危害ト云フコトモ防ガネバナラヌト云フコトハ、固ヨリ出テ來マセウガ、併シソレハ公衆ニ對スル豫防ト云フコトハ直接ノ意味デアハアルマイカト考ヘマス、幾ラカコチラガ廣イモノト見ナケレバナラヌト思フ、廣イコトハ廣イトシタ所デ、此監護ト云フ此法案ノ言葉ノ中ニハ、ヤハリ民法ノ九百二十二條ニ云ッテアルコトハ含ンデ居ルト云ハナケレバナラヌ、サウスルト詰リ本案デ後見人ガ監護ノ義務ヲ負フト云フコトハ云ハナケレドモ、民法九百二十二條ニ依テ既ニ療養看護ト幾ラカ知ラヌガ、先ヅ是ダケノコトハスルト云フ義務ヲ負フテ居ルカラシテ、其必要ハナイカノ如クニ

アリマスルガ、併ナガラソレハ必要ガアラウト思フノハ、社會公衆ニ危害ヲ與ヘヌダケニシナケレバナラヌト云フ義務ハ、監護義務者トシテ其人ガ負ヒマスカラシテ、ソレニ依テ從テ此行政廳カラ突込シテ往クト云フ手續モ起ッテ來ルノデアリマシテ、此民法九百二十二條ダケデハ、即チ監護義務者ガ行政廳ニ對シテ取テ容レラレル限リノモノデアアルマイ、其點ノ必要モアリマス、ソレカラ又兩方同ジ事デアアル、ドツチカ違ヘナケレバ抵觸シテ居レバ、一方ニ極ラナケレバ困リマセウガ、抵觸ハシテ居ラヌ積デスカラシテ、詰リ本法ニ從ヘバ九百二十二條ノコトハ當然ニ實行シテ參ル話シニナリマス、併ナガラソレガ抵觸シテ居レバマア新法ニ依ッテ舊法モ變ヘルト云フコトモゴザイマセウケレドモ、抵觸ハシテ居リマセヌカラ、兩方ドモ生キテ居ル、兩方トモ働イテ居ル、サウシテ此後見人タル監護義務ガ仕事ヲシテ往クトハ、兩方ノ法律ニ依ッテシテ往キ居ルト云フコトニ見テ、少シモ差支アルマイト思フ

○(花井卓藏君) 此監置デスネ、監置ト云フ事柄ハ法律デナケレバ出來ヌト云フ事柄ハ御認メニナリマスデセウカ、縱令精神病者ト雖モ人ヲ監置スルト云フコトハ——監置スルト云フ事柄ハ、法律ノ力ニ依ラナケレバ出來ヌモノデアルト云フ事柄ハ、御認メニナリマス

○内務省參事官(窪田靜太郎君) サウ思ヒマス

○(花井卓藏君) サウスルト是マデ警視廳ナドデ、監置ニ關スル手續ナドガ命令デ出テ居ル事柄ハ、不法ノ處置デアルト云フコトハ御認メニナリマスカ
○内務省參事官(窪田靜太郎君) ソレハ警視廳ノ規定ト云フモノハ、何時出來テ居リマスカ知リマセヌガ、無論ソレハ憲法發布前ニ出來テ居レバ疑ナイガ、憲法發布後ニ出來テ居ルト云フナラバ、ソレニ就イテ果シテソウ云フ規定ガ設ケ得ルカドウカ、命令ヲ以テ設ケ得ルカドウカト云フ問題ハ無論アルンデアリマスガ、併ナガラ此問題ハマア其說ヲ爲ス人ガ兩樣ニアル、即チ此公衆ノ危害ヲ豫防スルト云フ點ニ於テハ、必要ノ範圍内ニ於テ差支ナイト云フ論モアルヤウデアリマスガ、寧ロソレハ其論ヲ決定スルヲ要セズシテ、左樣ナ事柄ハ漸次此法律ヲ以テ規定シテ參ルト云フコトニ致スノガ至當デアラウト云フコトノ見解ヲ執ッテ、追々ニサウ云フ方針ニ吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○(花井卓藏君) 唯今ノ制縛鎖鋼ト云フヤウナ事柄ガ出來ベキ事柄ガ、規定セラレテアル命令ハ、シカモ明治二十七年四月警視廳ノ訓令第二十五號、ソレカラモウ一ツハ明治二十七年四月、之モ憲法發布以後警視廳ノ第二十五號ト云フヤウナモノニ掲ゲテアルノデアアル、ソレデ若シ命令ト云フテモ警視廳ノ命令ナドト云フモノハ、小命令デ極論シテ云ッタナラバ殆ド命令ト云ヘヌ位小サナモノデアラウト思フ、ソレスラモ斯樣ナ事柄ヲ掲ゲテ居ルノデアアルシ、唯今政府委員ノ說ヲ承レバ勿論法律ニ據ルベキモノデアアル、ソレカラ又今日マデ左樣ナ事柄ヲシテ居ッタ所デ、今後ノ方針ト云フモノハ法律ニ依

ルト云フ主義デアルト云フコトニナレバ、兎ニ角明治二十六七年度ニ於テ斯
様ナ命令ヲ出スノハ譯ガ分ラヌ、警視廳ノ訓令ナドデコンナコトヲ致シタト
云フコトハ不法デアルト云フコトハ、唯今ノ御説明ニ依ツテ能ク分ル譯デア
リマスカラ、ソレハ深く質問シマセヌガ、サウスルト第六條ニ就イテ私ハ一
ハ疑ヒガアル、即チ「監護義務者ナキ場合」ソレカラ「監護義務者ガ義務ヲ履
行スル能ハザル場合」ニ於テ、市長區長町村長ト云フモノ、ニ、監護義務ヲ負サ
シメラレテ居ル、監護義務ヲ完全ニ盡サウト思ヘバ、監置ト云フコトカラシ
ナケレバナラヌ、監置ト云フ事柄ヲ許サネバナラヌ、サウスルト此監置ト云
フ事柄ハ、人ノ身軀ヲ拘束スヘキ事柄デアルカラ、疑モナク法律ニ依ラナケ
レバナラヌガ、且ツ政府委員ノ御説明ニ依テ一層明カナルニモ拘ラズ、此市
長區長町村長ノ場合ニハ命令ニ依ラレタノハドウ云フ譯デアルカ、即チ斯ノ如
キ場合ニ於テハ「所在地市町村長ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ監護スヘシ」此
命令ニ之ヲ讓ラレタト云フコトハ、ヤハリ唯今ノ御説明ノトハ副ハヌダラウ、
勿論命令デアルコトハ憲法ノ上ニ出來ルカ出來ヌカハ別問題デアルカ、私ハ
出來ヌト思フケレドモ、衆議院デハ出來ルト云フ先例ニナツテ居ルカラ致方
ハゴザイマセヌガ、避ケ得ベクンバ避ケタイト思ヒマス、又之ヲ命令ニ讓ラ
ヌデモ「其所在地市町村長ハ本法ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ監護スヘシ」ト書ケ
バ澤山デアリマス、監護ノ手續方法ト云フモノハ、本法ニ十分ニ規定シ盡サ
レテ居ルカラシテ、此分ヲ勅令ニ讓ラレタ道理ガ一向分ラヌ、ソレヲ聞キタ
イ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 是ハ唯今御述ベニナリマスル如クニ、一體
法律ヲ以テ監置スルト云フコトハ、規定ヲ致スコトガ適當デアル、ソレ故ニ
之ヲ特ニ勅令ヲ以テ定ムル所ニ從ツテヤルト云フダケノ委任ノ條項ヲ設ケマ
シタ、若シ之ヲ命令デモ構ハナイト云フコトデアツテ見レバ、斯様ナ條項ハ
必要ハ無カッタ、其點ニ於テハ少シモ必要ハナイガ、ヤハリ監置ト云フヤウ
ナコトヲ含ンデ來ルシシマスカラ、法文ヲ以テ是ダケノ條項ヲ設ケタ、ソレ
ナラ其委細ノコトヲソレデヤ、茲ニ書イタラ宜カラウト云フハ御一説デアリ
マスルガ、是ニ付キマシテハ、段々此場合ニ付イテノ細カイ一ノ規定ヲ設ケ
ネバナラヌ、ソレハ例ヘバ刑期ガ滿チテ監獄ヲ出タ、出タガ引取人ガ無い、ア
レモアルト云フヤウナコトニ付イテノ始末ノ手續等モ書カネバナラズ、色々
細カイ手續ヲ書カナケレバナラヌモノデアルカラ、固ヨリ此要點ハ他條項ニ
於テ盡シテ居ルカラシテ、ソレダケノ處ハ勅令ニ讓ツタ方ガ適當ダラウト云
フコトデ、斯様ニ委任ノ條項ヲ設ケタ、尙一言辯明致シテ置キマスコトハ、私
ハ先刻説明致シマシタノハ警視廳ノ廳令ノ如キモノハ監置スルト云フヤウナ
事柄ニ付イテハ、ソレハ法律ヲ以テ規定スルト云フコトガ至當デアル、デ
レガ色々論ハアルケレドモ、其論ヲ決スルニハ及バナイ、追々ニ機會ノアル
次第ニソレハ法律デ以テヤツテ往クコトガ至當デアルカラ其方針ヲ採ラネバ
ナラヌト云フコトヲ申シタノデ、然ラバ警視廳令ハ直ニ違法デアルカト云フ

コトニ付キマシテハ、ソレヲ以テ直ニ違法ト申シタノデヤナイ、其論ハ決ス
ルニ及バナイト云フコトヲ申シタノデ、然ルニ此精神病者ト云フモノガアレ
モアルト云フヤウナコトニナレバ、自ラヲモ傷ケ傍人ヲモ傷ケルト云フヤウ
ナコトニナレバ、必要ノ防衛上ドウシテモソレダケノ始末ヲシナケレバナラ
ヌト云フコトガ、當然ニ起ツテ來ル話デアリマスルカラシテ、ソレナラ其儘投
テ置イテ精神病者ダカラ精神病者ト云フ譯デ、人民ガ監禁シヤウトモ敢テ與
リ知ラヌノデ宜シイデヤナイカト云フコトデハ、精神病者ハ勿論社會一般ノ
保護ガ出來マセヌカラ、必要上ソレダケノ手續ヲ設ケテ、サウシテ一面ニハ
精神病者ヲ保護シ、一面ニハ社會ノ危害ヲモ保護スルト云フダケノ規定ガ出
來テ居ルモノト思ヒマス、ソレニ付イテノコトハ別問題ト御承知ヲ願ヒタイ
○(花井卓藏君) 質問スル所ノコトヲ種々ニ取ツテヤルト云フノデヤナイカ
ラ、御心配ニナツテノ御説明ハ要ラナイノデス要ラナイガ免ニ角説明ノ趣意ニ
依テ見レバ、私ハサウ解釋スルノデアル、若シソレデ宜シイト云フコトナラバ、
本法ハ要ラナイデヤナイカト云フ疑ガ起ルケレドモ、左様ナ議論ハ此處デス
ベキコトデナイカラ申シマセヌガ、是ヲ修正スル意味ヲ明カニシテ置キタイ、
序デデスカラ其「所在地市町村長ハ本法ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ監護スヘシ」
ト云フ文字ヲ削ルト云フ事柄デハ、同意ガ出來ナイデスカ、伺ツテ置キタイ
○内務省參事官(窪田靜太郎君) ソレハ困リマス、本法ニ規定致シテ居リマ
スル手續ハ、行政廳ノ許可ヲ受ケサストカ、或ハ届出ナケレバ唯今ノ如キヤ
ラセル如キハ如何ニスルカ、市町村長ニ任セ限ニスルカ、ドウカト云フヤウ
ナコトヲ規定セネバナラヌ

○(花井卓藏君) ソレデハ問ヒマス、第六條ノ場合ニ於テ市町村長ガ監護ス
ベキ場合ニナツタ時ニハ、其市町村長ハ何ト名ケルカ、監護義務デアルカドウ
カ、例外ノ監護義務者デスカ
○内務省參事官(窪田靜太郎君) ソレヲ監護義務者ト云フコトハ云ヘマイト
思フ、サウ申スト云フト或ハ二條ニ「監護義務者ニ非サレハ精神病者ヲ監置
スルコトヲ得ス」トアルカラシテ、從ツテ監置ト云フコトガ出來ナイト云フ
コトニナリハセンカト云フ疑モアリマスカラデアリマスガ、ソレハ二條ニ付
キマシテハ一般此人民ニ於テ監置スル場合ノコトト、ソレカラ本法ニ特ニ規
定ノアル所ノ本條デアルトカ、六條デアルトカ、或ハ八條ノ但書ニ「急迫ノ
事情アルトキハ行政廳ハ假リニ其精神病者ヲ監置スルコトヲ得」ト云フヤウ
ナ特例ノ設カツテ居ルモノハ、無論差支ナイ見込デアアル
○(花井卓藏君) 尙御尋申シマスガ、監護義務者デナイト云フコトニナルト
勿論此第一條ノ監護ノ義務ハ負ハヌコトニナル、監護ノ義務ヲ市區町村長ガ
負ハナカッタ折ニハ何ニモナイ、文字ニ監護ト云フガ書イテアルノデアツテ
社會ノ危險ヲ防グト云フ本法ノ趣旨ニ添ハズ、傍人ノ迷惑ヲ保護シテヤルト
云フ本法ノ趣意ニ副ハナイ、監護ノ義務ヲ負ハナイ場合ナラバ特段ナル規定
ヲ設ケテ勅令ニ依ツテ監護スルト云フ事實ヲ取行フ必要ガナイ事柄ニナリハ

センカト思ヒマス、法律ガ強制の監護義務者ナキ場合ニ於テハ、市町村長ニ監護ノ義務ヲ負ハセルト云フコトニナラヌケレバ、市區町村長ノ執ル所ノ監護ト云フハ何ヲスルノデス

○(内務省參事官(窪田靜太郎君)) 市區町村長ガ此處デ監護ヲ致スコトハ、是ハ義務ト云フ言葉ヲ以テ少シ云ヒ現ハシ惡クイコトデ、即チ職務デアアル、詰リ職務トシテ監護ヲスル、其仕方ト云フモノハドレダケノコトヲスルカト云フコトハ、固ヨリ勅令デ定メマス、即チ監護ト云フ言葉ノ意味デス、一條ノ意味ト違ウカト被仰ルガツレハ違ハナイ積デス、併ナガラ其ヲ以テ直ニ市區町村長ヲ義務者ダト云フコトハ云ヘナイ、職務デアアル

○(花井卓藏君) ソレデヤ市區町村長ガ此處ニ監護ト云フ事柄ヲセナカッタ折ニハ、詰リドウナルデス、義務ハナイノデアアルカラセヌト云ツタラドウデス

○(内務省參事官(窪田靜太郎君)) 職務ヲ怠慢ニスルデス

○(花井卓藏君) サウスルト云フト總テノ公法ナドニ書イテアル、職務上ノ義務ニ背イタト云フ事柄ニハナルデセウ職務上ノ義務ト言ヘバヤハリ看護上ノ義務ト言ハナケレバナラヌ、サウスルト唯ダ一人タルト公法人タルノ差ノアルニ過ギナイノデアアル、ソレニ一人ノ方ニハ監護義務ガアルケレドモ、公法人ニハ監護ノ義務ガナイ、唯ダ職務ノ責務許リデアルト言ツテハ、變ナモノニナリハシナイカト思フ

○(内務省參事官(窪田靜太郎君)) 茲ニ市區町村長ハ、市區町村長ト云フ公吏ト云フモノニ、是丈ケノ職務ヲ負ハスルノ規定デアリマス、之ヲ以テ法人ト云フ市町村ト云フ團體法人ガ、義務ニ負フト云フノシヤナイ、法人ノ場合ニハ義務ト云フ言葉ヲ使ツテ居ラヌ、併シナガラ公吏トシテ職務ニ致スト云フ場合ニ於キマシテハ、之ハ義務トハ言ハナイデ、職務ト云フコトニ致シテ居ル、若シ之ガ違フスルト云フコトニナレバ、ヤハリ市町村制ニ依リマシテ、此處戒處分ヲ受ケルト云フ譯ニナリマス

○(花井卓藏君) 尙御尋致シマスガ、私ガ只今言ツタ公法人ト云フノハ、即チ公吏ト云フノデソラ直シテ置クガ、ソコデ今ノヤウナ御説明ニナルト云フト、此第六條ノ末段ノ方ハ、言ハハ市町村制ニ書イテアル、市町村長ノ職務權限ノ之ハ追加デアツテ、名ハ精神病者監護法ト題セラレテ居ツテモ、其六條ト云フノハ、市町村制ノ追加案トモ言フベキモノナデスカ

○(内務省參事官(窪田靜太郎君)) 追加シヤナイ、御承知ノ通りニ此市町村長ノ職務ノ書イタモノガアリマス、市町村長ガ法律命令ニ依リマシテ、國ノ行政事務ヲ行ウト云フコトガアリマス、デ其個條ガ此本法ニ依リマシテ、一ツ職務ガツレニ依ツテ殖イテ來タ譯デ、デ市町村制ニ是丈ケノコトハ市町村長ガヤルト云フコトヲ見テ居ル、法律命令ノ定ムル所ニ依ツテ……

○(花井卓藏君) 履行セズト云フコトヲ御制リニナツテハドウデスカ

○(内務省參事官(窪田靜太郎君)) 之ハ其斯ウ云フ譯デアツタノデス、義務ヲ履行シナイカラト云フノデ、ソレデ直グ市町村長ガ監護スルト云フノハ、可

笑シイヂヤナイカト云フ第一ノ質問カラ起ツタノデ、デ之ハ其此八條ノ精神病者ノ監守ガ、監守ノ必要ガアルノニ、其監守ヲシテ居ナイト云フヤウナ場合ニ、行政官廳ガ其監守ヲ命ズルコトガ出來ルノデ、義務者ニ命ゼラレマシテモ履行シナイト云フ場合ニハドウナルカト云フト、十九條ニ依ツテ義務者ハ罰シマス、罰シマスガ併シナガラ罰シタダケデヤハリソレモ監護シナイト云フコトニナツテ來レバ、行政事務ノ目的ハ達セラレマセカラ、誰カソレヲ始末ヲシナケレバナラヌト云フノニ付テハ、ソレハ仕方ガナイ市町村長ヘ持ッテ行ツテ、ソレニ始末ヲサセル、其費用ハドウスルカト云ヘバ、十條ニ依ツテ此十條ノ二項ニ依リマシテ、本人ガ資力ガアレバ本人カラ取ル、無資力デアレバ、府縣稅ニ依ツテスルト云フ意味デアツタノデ、ソレデソレデ此八條ノ前ニ履行セズト云フコトヲ、六條ニ便宜上茲ニ持ッテ來テ書イテシマツタノデ、サウスルト所ガズツ讀ンデ行ク上ニ於テ、其譯ガ分ラナイ寧ロソレハ八條ヘ持ッテ行ツタ方ガ、適當ナ地位デアラウト云フ所カラ、此所ヲ抜カシテサウシテ此八條ノ方ヘ、第三項ヲ附加ヘルコトニナツタノデ

○(花井卓藏君) 併シ此第六條ト云フモノハ、監護事實ノ上ニ於テ監護ノ目的ノ達セラレナイ場合ニ列舉シテ、其折ニハ誰ニ此責任ヲ移スカト言ヘバ、市區町村ニ移スト云フ事柄ニ規定サレテ居ルノデ、履行不能ノ場合ガ規定シテアレバ、不履行ノ場合ヲ規定シタ方ガ順序ガ宜イト思ヒマス、之ニ第八條ノ三項ニ向ツテ此同條ノ條文ヲ移シタ貴族院ノ修正ト云フモノハ、ヤハリ私ハ立法ノ軀裁トシテ却ツテ不都合ト思ヒマス、是モヤハリ此復活シタイト云フ意見ヲ持ツテ居リマスガ、御同意ガ出來マセヌガ序デニ御問致シマス

○(内務省參事官(窪田靜太郎君)) ソレハヤハリ少シ困ルノデス、併ナガラ私茲デ申上ゲテ置クコトハ、前ニモ同シヤウナ御尋ネガアリマシタガ、其困ルト申スコトハ、詰リ其之ヲ元ノ通りニ戻シタナラバ、運ビガ付カヌト云フヤウナコトノ意味デアアルカ、原案ニ反對スルト云フ意味デアアルカト云フナラバ、決シテサウ云フ意味デハナイ、アリマセヌガ、併ナガラ之ハ此私共が見ル所デハ、何方カラニナツテモ趣意ニ大ナル差ハナイモノデアルト云フコトニ考ヘテ居ル、ソレデ既ニ政府ノ見ル所原案ト思ツテ出シテ見タ所ノガ、是ダケノ修正ガアツタ、其修正デモ政府ガ差支ナイト云フコトニ見做シテ居ルト云フ以上ハ、其修正ニナツタ方ガ詰リ斯ウ云フ多數ノ眼デ見タモノデアルトスレバ、何方カラト云フタナラバ、先ヅ公平ニ言ヘバ、或ハ其方ガ宜イト言フカモ知レマセヌ、併シナガラ其所マデ立入ラナクテモ何方ヲニ致セ、之ヲ復活シナケレバナラヌト云フ、ドレモ必要モナイデアリマスカラシテ、成ルベク此多數ノ眼デ見テ是マデヤツテ見テ、政府ガ又之ヲ不都合トハ思ハナイト云フ方ニナリマスルコトヲ、希望スルト云フコトデアアル、左様御承知ヲ……

○(花井卓藏君) 詰リ同ジ規定デアアルカラシテ、何處ニ掲ゲラレテアツタモ差支ナイノデアアル、詰リ法文ノ立方ハ或ル目的ヲ達スルノ趣意デ、條項サエ備ツテ居レバ順序ハドウデモ宜シイ、尙ホ貴族院ノ多數ノモノガ見タカラシテ、

モウウルサイカラ斯ウシテ置クト云フ譯ニナリマスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) サウ云フ譯シヤ敢テ不都合モ感シナイ、條文モ宜フナレバ宜クナッタ方ガ宜イ、併シナガラ今吾々ガ見ル所デハ、是デドウモ惡クナッタトモ無論見ナイ、或ハ宜クナッタカモ知レヌト云フ位ニマア考ヘル、ソレ故ニ本條ハマア元ノ通りニ此貴族院ノ修正通りニナリタイト云フダケノ希望ナンデ、敢テ面倒トカ何トカ云フ趣意シヤアリマセヌカラ、サウ御承知ヲ

○(花井卓藏君) 第八條ノ監護義務者其項ヲ「本條ニ依リ精神病者ノ監置ヲ命セラレタル監護義務者其命ヲ履行セサルトキハ第六條ノ例ニ依リ市區町村長ニ於テ之ヲ監護スヘシ」ト云フ事柄ガ、第七條ノ「監護義務者其義務ヲ履行セスト履行セサルトキニハ市區町村長之ヲ移ス」ト云フ事柄ト違ハヌノミナラズ、場所ト云フモノガドウシテモ茲ニナケレバナラヌヤウニ見エルノミナラズ、サウ見ナケレバヨカシイノデアルト云フノハ、第八條ノ處ハ市區町村長ガ監護義務カラ命セラレタ場合、即チ行政廳ガ小サイ行政廳ガ監護義務ヲ命セラレタ場合ガ第八條ニアルノデ、此法律ノ監護義務者ノ側ニ關係スル規定ハ八條ニナイ、寧ろ其方ハ六條ニアル、八條ハ監護義務者ノ指定行政廳自カラガ監置スル場合ト云フヤウナコトガ規定シテアル處ヘ、一私人タル監護義務者ニ屬スル責任ガ出ルハヨカシイヤウニ思ハレルノミナラズ、第七條以下ハ行政廳ノ精神病患者ノ規定ニ關スル事柄ガ掲ゲテアル、是ハ元ノ方ガ宜シイト思フ、御説明ノ趣意ハ分ラヌガ法律ノ立テ方ガ、五條デアルトカ六條デアルトカ、監護義務者ヲ的ニシテ、七條ハ八條ノ監護義務者ナキ場合、行政廳自カラヲ的ニシテ居ル、ソレヲ此處ヘ持ッテ來ルト處分ノ上ニ便ト思フ……

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 便チヤナイ、八條ノ一項ヲ見マスルト監護義務者ヲ指定シ之ガ監督ヲ命ズルコトヲ得、其命ヲ受ケタヤツガ行ハナカッタラドウスルト云フコトガ直グ起ル、ソレハ三項ニ其場合ニ六條ノ場合ニ市町村長デ監督スルト云フノデ、自ラ人ノ頭ヘ次第ニ浮シテ來ル處ヲ向ヘテ居ルノデ、是デ適當デアラウト思ヒマス

○(花井卓藏君) サウスルト履行スルコト能ハザル場合、履行不能ノ場合デモ同ジデアリマセヌカ、ドウモ監護義務者デハアルケレドモ、或ハ經濟上ノ理由、或ハ身軀上ノ理由トカ、自カラソレヲ全フスルコトガ出來ナイ、履行ノ義務ヲ盡ス能ハザル場合ニ於テハ、ドウスルト云フ感覺モ唯今ト同様浮ンデ出ナケレバナラヌ、履行不能ダケ前ニアルガヨカシイ、不履行ノ場合モ八條ニ括シテ置カナケレバナラヌト思フ、ソレヲ區別シタ譯ハ……

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 履行不能ノ場合ハ行政廳ヨリ命令シタ場合チヤナイ、監護者ハアルガ併ナガラ今長崎ヘ往ッテ居ルトカ、分ラナイ時ニ履行ガ出來ナイ場合デアリマスカラ、六條ニアッテ丁度此監護義務者ノナイ場合、サウ云フ場合ガ一緒ニナッテ差支ナイト思ヒマス

○(花井卓藏君) 幾度御尋シテモサウ云フコトナラ仕方ガナイ、第十二條ヲ

先日丸山君ト一緒ニ御尋申シタガ、行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ベキ場合ト云フノハ、例ヲ以テ示シタラドンナ場合スデ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) ソレハ先日ハ申上ゲマシタ如ク、精神病患者デナイト云フモノヲ、例ヘバ配偶者ガ願ッテ許可シタト云フヤウナ時分ニ、其許可ヲ取消シテ貰フ、是ハ違法ノ處分デアッタト云フコトガ、精神病患者ナラコソ許可ガ出來ルガ、ソレハ違法デアルト云フ場合ハ行政訴訟ガ出來ル積リデス

○(花井卓藏君) ソウ云フ場合ノミデスナ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) ノミデアリマセヌ

○(花井卓藏君) 多ク……

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 多クトモ言ヘマセヌ一例デス

○(花井卓藏君) ドウシテサウ云フモノハ行政裁判所ニ受理スルデアリマセウ、私ハ取ルマイト思フ、サウ云フ事柄ガ本法ノ執行ニ關シテ生ズル權利傷害ノ事實デモナク、又本法ニ基キテ發シタル命令ノ執行ニ關スル權利傷害ノ事實デナイ、誰ガサウ云フ場合ニ被告ニナルノデス

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 行政廳——許可ヲシタルモノ

○(花井卓藏君) 許可ヲシタルモノハ違法ノ處分ニナルノデスカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 精神病患者ナラコソ本法ニ依ッテ監置ガ出來ル、精神病患者デナイモノヲ監置スルコトノ許可ハ出來ナイ

○(花井卓藏君) 宜シイ、サウスルトモウ一ツ御尋シタイ、唯今ノ御説明ハ感服シナイガ、ソレハ措イテ精神病患者ハ禁治產モ精神病患者デアルト云フ事柄ハ疑ナイ事實デアアル、其禁治者ニ對シテ唯今御説明ノ如キ場合ハ、司法裁判所ニ於テ民事裁判所ニ於テ救濟ヲ受ケル規定ガアル、即チ人事訴訟手續法デアアル、明治三十一年六月十五日法律第十三號ノ法律デアアル、此人事訴訟手續法ニ依ルト、禁治產ノ宣告ヲ受ケルニ付テノ手續ハ總テ司法裁判所、即チ民事裁判所ニ向テヤルベキ事柄ト云フモノガアル、其禁治產ヲ取消ス場合、即チ心神衰弱ノ者ニアラズ、若クバ精神病患者ニアラズ、然ラバ全癡シタモノニ付テ取消ヲ受ケル處ハ、民事ノ裁判所デアルト云フ規定ガアル、即チ人事訴訟手續法ノ第四十條カラ第六十九條マデヲ御覽ニナッタラ各條ニ散見シテ居ル、處デ禁治產者ハ精神病患者デアルト云フコトハ疑ナイニモ拘ラズ、唯今ノ御説明ニ依ルト丁度例ノ如キハ行政裁判所ヘ出訴シテ救濟ヲ受ケル、而シテ相手ハ行政廳デアルト云フコトニナッテ居ルガ、人事訴訟法ニ依レバ、斯ノ如キ場合ハ民事裁判所ニ於テ救濟ヲ受ケルモノデアルト書イテアル、人事訴訟法手續ノ四十條カラ六十九條マデト、本法第十二條トノ關係ハ如何ニシテ調査スルカ、更ニ抵觸ヲセヌカ若クハ同ジ精神病患者デモ禁治產ノ宣告ヲ受ケテ居ル分ハ、其救濟ガ行政裁判所ニ往クコトガ出來ズシテ、民事裁判所ニ往クノデ、禁治產ノ宣告ヲ受ケナイ分ハ行政裁判所ヘ往ッテ、民事裁判所ニ往ケナイノデアルト云フガ如キ、區別ヲスルト云フ御趣意デアリマスカ、若

シ區別ヲスルト云フ御趣意ナラバ、何故ニ一方ハ民事ニ屬シ一方ハ行政ニ屬スルカ説明ヲ請ヒタイ、明ニ抵觸シテ居ル

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 抵觸シナイノデゴザイマスト申シマスノハ、人事訴訟手續ニ規定シテアリマスノハ、禁治產ト云フコトニ付テノ規定デアリマシテ、其禁治產ト云フモノガ、果シテ不當ナ禁治產デアリカト云フヤウナコトヲ爭フコトハ、勿論人事訴訟手續ニ依ッテ裁判所デ爭フ、併シナガラ此本法ニ於テハ茲ニ行政裁判ヲ許スト云フコトハ、行政廳ノシタ處分デアラカラ許スノデアリマスカラ、其禁治產者ニ對シテノ處分デアリ以上ハ、行政廳ノシタ處分デアリ以上ハ、ソレハ素ヨリ行政裁判所ヲ許ス併ナガラ此禁治產ヲ蒙ッテ居ル其モノガ、禁治產ハ困ルト云フヤウナコトノ爭ヒハソレハ勿論行政廳ノ與リ知ル所デナイ、從ッテ行政裁判所ニ出訴ノ出來ルモノデナイ、ソレデアリマスカラ兩方相行ッテ、少シモ差支ナイ、但シ此禁治產者ナラバ總テ人事訴訟手續デアッテ、本法ニハ一モ依ラナイカラ、行政裁判ハ一ツモ出來ナイカト云ヘバサウデナイ、禁治產者ト雖モ法令ニ依ッテ行政廳ノ處分シタト云フ、其處分ニ付イテ行政裁判所ニ出訴スルコトガ出來ル考デアリマ

○(花井卓藏君) 尙御尋シマスガ、私ノ十二條ヲ解釋スルノハ、斯ウ云フノガ適法ダラウ、例ヘバ本法ニ基イテ發セラレタル命令ニ依レバ、檻置スベキ室ト云フモノハ、斯様々々ニシナケレバナラヌ、檻置ノ方法ハ斯様々々ニシナケレバナラヌト云フ事柄ガ、命令ニ揭ゲラレテアル、然ルニソコハ實際ニ臨ンデ見ルト、其命令通り出來テ居ラヌ、サウシテ其檻置ノ場所ヲ監視スル官吏ナドト云フモノガ、其儘ソレヲ見通シテ居ルガタメニ、程度ヲ超エタル檻置處分ヲ精神病者ナドガ受ケテ居ルト云フヤウナ場合ハ、詰リ行政廳ガ其不法ナ檻置ト云フ事實ヲ默過シタト云フ姿ニナルモノデアリシ、又事實精神病者ノタメニモ非常ニ可哀想デアアル、即チ法律ノ命ジタル所ノ方法ニ基カザルモノデアアルカラ、所謂違法處分ニナルサウ云フ時ニ、權利傷害ト云フ事實ガアルカラ、出訴スルコトガ出來ルト云フナラバ、讀メルカ知ラヌケレドモ、前ニ一例ヲ引カレタノハ、人事訴訟手續法デ往カナケレバナラヌモノデアアル、幾ラモ裁判所ヘ持ッテ往ッテ、決定ヲ受ケタ例ハアルノデアリマス、所ガ其分マデ許シタノガイカヌト云フノデ、行政裁判所ヘ訴願スル禁治產ノ處分ヲ受ケタ患者ハ、人事訴訟手續法ノ主張ガ出來ヌトカ、決定ヲ取消ストカ、禁治產取消ノ申立ガ出來ヌコトハナイ、何ゼナレバ此法律ガ後ニ出タカラデアアル、ソレガ何故ニ適法ニナルカ疑ハシイ、若シ貴君ガ仰シヤルコトガ出來ナイノナラバ、人事訴訟手續法ノ分ニ能ク該當スル實例ガアル、少シモ悖ラヌモノデアルト仰シヤルト明カニ悖リマスカラ、人事訴訟手續法ノ唯今申シマシタ所ノ、四十條カラ六十九條マデノ條文ヲ能ク御覽下サルト、幾ラモ發見スルコトガ出來マス、御分リニナラヌケレバ各條ヲ一々説明シナケレバナリマセヌガ、例ガソレニ當リサウナ同ジ例ガソレニ當ラヌ、其分ハ人事訴訟手續法ノ分

ニ屬スルノデアルト云フコトニナレバ、或ハ理解シ得ラレル、ソレデモ十二條ニハ多少理窟ガ自分ノ意見ハアリマスカレドモ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 例ハソレ等モ一例ト考ヘタノデアリマスカ、併シソレハ考ヘ違ヘデアアルカモ知リマセヌ、併ナガラ人事訴訟法ノ方ハ先刻申シマシタ如ク、禁治產ト云フコトニ關係デアリマスノデ、其禁治產ト云フモノノ關係ニハ行政廳ガ少シモ立入ッテ參ルノデアリマセヌカラ、本法ニ於テ往ク民事裁判所ハ人事訴訟手續法ニ依ッテ往クベキモノガ出テ、行政裁判所ヘ來ルト云フコトハアルマイト思ヒマス

○(花井卓藏君) ドウモ禁治產ノ宣告ヲ受ケテ居ル分ハ、精神病者ニ向ッテ餘程可笑シイト思ヒマス、廣イ分ハ之デ宜イカ知リマセヌガ、禁治產ノ宣告ヲ受ケテ居ル分ノ精神病者ト云フ奴ニハ、餘程妙デハゴザイマセヌカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) ドウモ妙デナイ積リデ、禁治產其モノニ立入ッテ往クノデナイ、檻置スルト云フ事柄ニ付イテノ本法ノ執行行政廳ノシタ處分ト云フモノデアリマスカラ、人事訴訟手續法ノ方ハ行政廳ノ處分ト云フコトハナイデセウ、ソレ故ニソレニ依ッテ人事訴訟手續法ハ、民事裁判所ヘ往クノニ是デハ行政裁判所ト云フコトハ起ルマイト思ヒマス、若シナンナラバドウ云フ風ニ

○(花井卓藏君) ソレデヤチヨット申シマスガ、貴君ハ禁治產ト云フ事柄ニ付イテノ解釋、即チ禁治產ト云フ文字ガアルガタメニ、避ケ得ベキ關係ガアルガ如ク云ハレマシタガ、元來民法ノ禁治產ノ宣告ヲ受クルハ、民法ノ第七條ノ精神耗弱者醫學上ノ言葉ヲ以テ言ヘバ、精神病者デアアルカ否ヤガ問題ニナル、精神病者デアレバ禁治產ヲ受クルノデアアル、宜シウゴザイマスカ、ソレカラ又其禁治產ヲ取消シテ吳レト云フ申出ガ出レバ、事實トシテ心神耗弱ガ止ンデ、精神病ト云フ病ガ直ッタト云フ事柄ニナル、モウ一ツハ貴君ガ例ニ引イタ如ク、己レハ精神病者デナイ、ソレニ禁治產ヲヤッタノハ不都合ダ取消シテ吳レト云フ禁治產ト云フモノハ、禁治產ノ宣告ヲ受ケタ精神病者ニ對シテ精神病者ナルヤ否ヤニ大關係ヲ持ッ、短ク云ヘバ精神病者ト禁治產者ハ違フ、其場合ニ於テ貴君ノ例ニ引イタ、己レハ精神病者デナイ禁治產ヲ受クベキ筋合ノモノデナイト云フテ、裁判所ヘ抗告シテ裁判所ハ決定シテ、其禁治產ノ宣告ヲ取消スコトナルト何デモナイコト、其目的ハ達セラレタ、即チ民事裁判所ニ於テ其目的ハ達セラレタ、而シテ此禁治產ノ申立ハ普通裁判ノ手續ヲ要スル地方區裁判所ニ屬スルト云フコトデ、此取消モ區裁判所ニ屬スルトアッテ之ハ貴君ノ引タ例ガ是ニ明カニ當ルノニ、之ヲ行政裁判所ヘ持ッテ行クト、禁治產ノ宣告ヲ受ケナイ分ハ宜イカ知ラヌガ、受ケタ奴ハ迷ハザルヲ得ヌ、或ハ非訟事件トシテ民事事件ニナリ、單純ニ行政事件ト云フコトニナルト、裁判管轄ノ上ニ於テ爭ガ起ランカト思ヒマス

○内務省參事官(窪田靜太郎君) ドウモ其例ハ惡イカ知リマセヌガ、ヨシ其例ヲ取ッテ申シマシテモ、少シモ抵觸シマイト思ヒマスノハ、禁治產ト云フ

コトニハ少シモ立入ルノデナイ、行政廳ハ本法ニ依ッテ禁治産ハ其儘往ク、ソレヲヤレルトカヤレルト云ヘバ、無論人事訴訟ノ手續法ニ依ルノデアッテ、本法ハ敢テソレハ見ナイ、禁治産ニナッテ居ルナッテ居ルモノヲ、檻置スルト云フコトニナレバ、本法ヲ出スルニ依ッテ居出デ、併ナガラソレハ居出ト云フコトニ付イテハ、行政廳ノ處分ト云フノデナイカラ宜シイガ、要スルニ行政廳ノ處分ト云フモノガ、禁治産ニ立入ルナラバ、サウ云フコトガ起ッテ來マスガ、立入ルノデアリマセヌカラ、抵觸スルコトハナイと思ヒマス

○(丸山嵯峨一郎君) 禁治産ニナラナイ瘋癲者ガアツタ、ソレニ付イテ行政廳ノ處分ガ惡ルイ、自分ハ瘋癲者デナイト云フ所カラ訴願ガ起ル、ソレニ引繼イテ禁治産ノ宣告ヲ受ケルコトニナルト、尙ホ同様ノ不服ガ起ルカラ疑ガ起ル、サウ云フ時ニハ二ツノ訴ヲ起スコトニナリマス

○(丸山嵯峨一郎君) 其裁判ガ抵觸シタラドウスル

○(丸山嵯峨一郎君) 其裁判ガ抵觸シタラドウスル

○(丸山嵯峨一郎君) 實際ニ困ルデアリマセヌカ

○(丸山嵯峨一郎君) 禁治産ト云フコトニハ一面ニ於テナラナイ、民事裁判ニ對シテ禁治産ニシナイデモ宜シイト云フコトニナッテ、禁治産ニナラナイデ一面デハ禁治産ニスル必要ハナカッタカ知レナイガ、如何ニモ危險ダカラ精神病者ト認メテ、監置シタト云フコトニナレバ、ソレハソレデ監置ト云フコトハ往ケルト思フ

○(丸山嵯峨一郎君) 今ノヤウナ場合ハ事實アリ得ベキ事柄デ、成程裁判官或ハ行政廳カラシテ見レバ、各々他ノ意見ヲ斟酌スルモ宜シイガ、國家カラ見レバ一樣ニ取扱ハナケレバナラナイ、裁判モ一樣ニ出デナケレバナラナイ、此法律ガ既ニサウ云フ趣旨ヲ以テ出タモノナレバ、ドウモ其弊ヲ免レナイトシタ所デ、成ベクハ左様ナコトノナイヤウニシタイ

○(丸山嵯峨一郎君) ソレハ衝突ト云フモノデハナイト思フ、事實ニ於キマシテハ民事ノ裁判ト此行政廳ノ處分トハ、一方ハ精神病者ト見ル、一方ハ精神病者ト見ナイト云フコトハ、避ケルダケ避ケタイノデ、行政廳ノ取扱フ所デハ訴訟ガアル以上ハ、其訴訟ノ決定スル所ニ依ッテ仕事ヲシテ往クト云フコトハ當リ前デ、理窟ヲ推シテ言ヘバサウ云フヤウナコトモ起ッテ來マスガ、法理上抵觸シタイト云フコトデアアルマイト思フ、詰リ裁判ト云フコトハ一方ハ禁治産ト云フコトデアリ、一方ハ檻置ト云フコトデアアル、一方ハ檻置ヲ許可シ、一方ハ禁治産ヲ許可シナカッタト云フコトデアアル、別ナ事デアリマスカラ、一方ノ裁判ト一方ノ行政廳ノ處分ガ直チニ抵觸シタト云フノデナクシテ、其理由ガ抵觸シタト云フヤウニナルノデ、ソレハ理窟ヲ推セバサウ云フコトニナルコトガアル、敢テ本法バカリデモアルマイト思ヒマスガ、事實ニ於テハ裁判ニ屬シテ居ルモノハ裁判ノ決定ヲ待ツト云フコトニ、行政廳ハ取扱フノデアリマス

○(丸山嵯峨一郎君) 既ニ制定サレタ法律ナレバ止ムヲ得ザルコトガ起ルノモ仕方ガナイガ、是カラ作ルモノハ十分研究ヲシタイト云フノガ私共ノ考デア、ソコデ今アナタノ仰シヤッタヤウニ、成程行政廳ハ行政廳ノ考ヲ以テシ、裁判官ハ裁判官ノ見解ヲ以テシ、互ニ斟酌スルノ義務ト云フテハナイデアラウガ、併シ其禁治産デナイトカ禁治産デアルトカ、檻置スベキ必要ガアルトカ必要ガナイトカ、其者ガ瘋癲者デアルトカナイトカ云フ問題ノ起ッタトキノコトヲ云フノデ、檻置ト云フコトハ檻置スベキ程瘋癲デアルト云フコトヲ云フタノデハナイ、訴ノ原因ガ瘋癲者デアルト云フ場合ニ、一方ニハ訴願ガ起キ一方ニハ民事訴訟ガ起ル場合ヲ云フタノデ、サウ云フ場合ニハ瘋癲者デナケレバ、一方ニ檻置スル必要ハナイ、一方ニハ之ヲ檻置スルノ必要ガアリトシ、一方ニハ禁治産トスル必要ガナイトスレバ、其者ニ對シテハ氣ノ毒ノコトデアアル、故ニ是カラノ法律ヲ作ル上ニハ、餘程參酌シテソウ云フコトノナイヤウニシタイト云フ希望デス

○(丸山嵯峨一郎君) サウ云フ今御尋ノ場合ハ、先刻御話シタヤウニ、行政廳デ何時モ待ッテ居ルト云フコトデハゴザイマスガ、併シ理窟ノ方カラ推シテ往ッテ、成程サウ云フコトガアルカモ知レナイ、ソレヲ左様ナコトガナイヤウニスルト云フニ就キマシテハ、行政廳ノ裁判所ト行政裁判所トノ關係ヲ規定シナケレバナラナイ、ソレハ是マデモサウ云フコトヲヤラウカト云フ問題ノ持上ッタコトモアルノデスガ、我國ダケデハナク、皆民事裁判所ト行政裁判所トノ間ニ規定ヲシテ、一方ノ理由ヲ是非一方ニ用ヒサセルト云フヤウナコトハ、次第ニ罷メテ行ク傾キニナッテ居ル、事實ニ於テ差支モナシ、理論上カラ云ヘバ、請求ノ目的ガ違フ、判決ノ目的ガ違フ、判決ノ目的ガ違フト云フノデアリマスカラシテ、マア宜カラウト思ッテ居リマス

○(丸山嵯峨一郎君) 尙ホ私ハ唯二ツバカリ御參考マデニ質問シテ置キマスガ此監護義務者ノ義務ノコトノ出來ナイ場合、是ハ二ツアラウト思フ、監護義務者ガ——全體ガ誰ニ命ジテモ出來ナイ場合ト、監護義務者トシ二ツアテ現ニ其責ヲ負フテ居ル其者ガ、其當時實際監護スルコトガ出來ナイ場合ト、法文ノ上カラ云フト現ニ責任ヲ帶ビテ居ル監護義務者ガ、縱令バ施行中デアルトカ、或ハ其他ノコトデア履行スルコトガ出來ナイ場合ガ見エナイノデ、ソレハヤハリ貴族院ノ修正第六條ニ十分規定シテアルモノト云フ御精神デアラウカ、モウ一ツハ此間モ質問致シマシタガ、第十條ノコトハ是非此法案ニ規定シナケレバナラヌノデアアルガ、此事ハ民法上當然責任ガ明瞭シテ居ルダラウト思フ、特ニ此費用ノコトニ關シテマデ、此法案ニ規定スル必要ガドウシテモアラウカト云フ疑ガアル、却テ惑ヲ生ズルカト思フノデアリマス

○(丸山嵯峨一郎君) ソレハヤハリ六條ニ依ッテ運ビヲ付ケテ行ク積リデ居リマス、ソレカラ十條ハ詰リ先日モ申上デマシタヤウナ風ニ、看護スル義務ヲ負フト云フ言葉ノ中ニ、大抵行政法デ斯ウ云フ義務ガアルト云

○(丸山嵯峨一郎君) 今ノヤウナ場合ハ事實アリ得ベキ事柄デ、成程裁判官或ハ行政廳カラシテ見レバ、各々他ノ意見ヲ斟酌スルモ宜シイガ、國家カラ見レバ一樣ニ取扱ハナケレバナラナイ、裁判モ一樣ニ出デナケレバナラナイ、此法律ガ既ニサウ云フ趣旨ヲ以テ出タモノナレバ、ドウモ其弊ヲ免レナイトシタ所デ、成ベクハ左様ナコトノナイヤウニシタイ

○(丸山嵯峨一郎君) 尙ホ私ハ唯二ツバカリ御參考マデニ質問シテ置キマスガ此監護義務者ノ義務ノコトノ出來ナイ場合、是ハ二ツアラウト思フ、監護義務者ガ——全體ガ誰ニ命ジテモ出來ナイ場合ト、監護義務者トシ二ツアテ現ニ其責ヲ負フテ居ル其者ガ、其當時實際監護スルコトガ出來ナイ場合ト、法文ノ上カラ云フト現ニ責任ヲ帶ビテ居ル監護義務者ガ、縱令バ施行中デアルトカ、或ハ其他ノコトデア履行スルコトガ出來ナイ場合ガ見エナイノデ、ソレハヤハリ貴族院ノ修正第六條ニ十分規定シテアルモノト云フ御精神デアラウカ、モウ一ツハ此間モ質問致シマシタガ、第十條ノコトハ是非此法案ニ規定シナケレバナラヌノデアアルガ、此事ハ民法上當然責任ガ明瞭シテ居ルダラウト思フ、特ニ此費用ノコトニ關シテマデ、此法案ニ規定スル必要ガドウシテモアラウカト云フ疑ガアル、却テ惑ヲ生ズルカト思フノデアリマス

フナラバ、自分ガ金ヲ出シテヤルト云フノガ當然ノコトニナツテ居ルデス、然ル所是ハドウモ看護義務者ガ自分ノ費用ヲ出シテヤラナケレバナラヌト云フコトハ、適當デナイダラウト云フ點カラシテ、看護義務者ノ負擔デナイト云フコトガ書キタイノデアッタノデス、ソレハ其書キ現ハシ方ニ困ッタノデアリマスガ、一面ニハ市町村長杯ガ看護シタ場合、其時ノコトモアルカラ、旁々此民法ト抵觸シテハ困リマスケレドモ、抵觸シナイ以上ハツレダケノコトヲ示シテ置クト云フコトデ、斯ウ云フコトヲ書イタノデス、主タル目的ハ……

○(丸山嵯峨一郎君) 看護ニ要シタル費用ハ、被看護者ノ負擔トスト云フコトハ、寧ろ原則デアラウト思フノデ、若シ特ニ規定セネバナラヌ場合ガアツタナラバ、或ハ看護ニ要シタル費用ハ、看護義務者ノ負擔トスル書ク場合ガ生ズルダラウト思フ、併シハ規定ヲ要スルマデノ必要モナク、當然看護者ノ負擔デアルヨリ外ニ解釋ノシヤウガナイダラウト思フテ、ソレデ質問致シタノデス、尙此看護義務者ノ其義務ヲ履行スル能ハザル場合、即チ離婚或ハ他ノ事情ニ依ッテ履行スルコトノ出來ナイ場合ニハ、第六條ニ依ッテ規定シテアルト云フ意味ハ、サウスルト其場合ニ次ノ順位ノモノトカ、或ハ他ニ義務者ノアルニモ拘ラズ、直チニ市町村長ガ看護スルト云フコトニ解釋シテ宜シイノデスカ

○(内務省參事官(窪田靜太郎君)) 外ニ看護義務者ガアレバ順位ノモノガ旅行シテ居ルト云フ場合ニハ、八條ニ依リマシテ順位ニ拘ラズ行政上デ命ジテ看護サセル積リデアリマス

○(丸山嵯峨一郎君) サウスルト第八條ニ依ッテ——行政上ニ依ッテ其事柄ヲ發見シナイ中ハ、詰リ順位ノモノガタントアツテモ、行政上ノ命令ヲ受ケヌデスカラ、放任シテ置クト云フ御精神デスナ

○(内務省參事官(窪田靜太郎君)) 行政上ハ放任デス、手ノ附ケヤウガナイデス、併ナガラツレ丈ケノ人ガ居リマセバ、他ノ人ガ居ルト云フコトデアレバ、其相互ノ間ニハ他ノモノガツレ丈ノ順位ノ人ガ出來ナイカラト云ヘバ、其次ノ人ガツレ丈ケノコトヲシナケレバナルマイト思フノデス

○(丸山嵯峨一郎君) サウスルト全ク此監護義務者ト云フモノハ、何人ガ其義務ヲ行ツテモ宜イト云フコトニナル、御論ニナリマス、何トナレバ例ヘバ外ノ扶養ノ義務トカ云フ民法上ノ規定ヲ見マスルト、扶養ノ義務ヲ負ヒタルモノハ法律上當然其人ガ扶養ノ義務ヲ負フテ居ルノデアル、ソレデ此所デハ後見人ト云フモノガ、看護者ノ義務ト云フ責任ヲ帶ビテ居ッテ、偶々不在デアッタト云フ場合ニ、後ノ事ヲ……何ヲナイノデアルカラ、其人ノ代理ヲシテヤルト云フヤウナ關係デ、法律ノ規定モナシ、又事實ニ於テタイ場合ガアル、其場合ニ後見人ガ發狂ニナツタト云ツテモ、後見人ガ當然法律上看護義務者デアルカラ、他ノモノガ法律上ノ理由モナクシテ、直チニ監置スルトカ云フ方法ヲ用イルコトガ出來ナイ、此法デモ明ニ第二條ニゴザイマス通りデ

アツテ、後見人ガ看護義務者デアル以上ハ、他ノモノハ看護義務者デナイモノガ、其處分ヲスルト云フコトハ出來ナイ、サウシテ見ルト其際ノ規定ガナイ以上ハ、第六條ニ依ッテ直チニ町村長ガ行ハナケレバナラヌヤウニ、解釋上ドウシテモナル、サウスルト第一ノ順位ニ當ルモノガ其義務ヲ或事情ニ依ッテ履行スルコトガ出ナイ場合ニ、第二ノ順位ニアルモノガ之ヲ行フテモ差支ナイト云フ御解釋ニナルノデスカ

○(内務省參事官(窪田靜太郎君)) ソレハ固ヨリ市町村長ガ六條ニ依ッテ看護スルト云フヤウナ場合ナラバ、ソコニ精神病者ガアルト云フコトモ、行政上分ツテ居ルモノデアルカラ、ソコニ看護義務者ガアルト云フコトガ市町村長ニ分ツテ居ル以上ハ、行政廳モ分ツテ居ルノデアルカラ、八條ニ依ッテ命ジテ行ク、然ル所ソレガ分ラズニ居ル——他ニ看護義務者ノアルト云フコトガ分ラズニ居ル、又現ニ在ル所ノ看護義務者ト云フモノガ他ニ旅行シテ居ルト云フ場合デ、拾置カレナイト云フナラバ、行政廳ニ分ツテ居レバ市町村長ニ引渡シテ、市町村長ガ六條ニ依ッテ看護スル、併シ行政廳ニ分ツテ居ナイ場合ニ於キマシテハ、此一條ノ義務ト云フモノヲ、如何ニシテヤツテ行クカト云フコトハ、詰リ一條ノ解釋ニナルデスカ、其場合ニハ即チ後見人ト云フモノガ、第一番ノモノガ旅行シテ現ニ居ナイ、履行シ能ハザルト云フコトニナツテ居ルナラバ、此第二ノ配偶者ト云フモノガ、相當ナコトヲスル丈ケノ義務ヲ帶ビテ居ルモノト思フテ居リマス

○(花井卓藏君) 十二條ノ行政裁判所ニ出訴スル場合ニ、當事者即チ被告ハ行政廳デスカ、被告トナルベキモノハ此法律ノ豫想スル所ハ精神病者ト認メラレタル者ノミト云フ御趣意デセウカ、監護義務者モ當事者ナルベキ場合ヲ豫想シテアリマスナ

○(内務省參事官(窪田靜太郎君)) 其場合モアラウト思ヒマスガ、一々斯ウ云フ例ガアルト云フコトモ考ヘテ居リマセヌガ、無論アル積ナンドス

○(花井卓藏君) 所デ精神病者監護法ニ基イテ、精神病者ト定メラレタル者ニ訴訟能力ガアルカ、則チ行政裁判所法上訴訟能力ガアルモノデアルト云フコトハ御認メニナルデセウカ、一旦行政廳ノ許可ニ依テ精神病者ト認定セラレテ、精神病者トシテ取扱ヲ受ケテ居ル者ガ、形式上サウ云フ處分ヲ受ケテ居ル者ガ、訴訟能力ガアルト云フコトヲ御認メニナルノデセウカ

○(内務省參事官(窪田靜太郎君)) ソレハアラウト思ヒマス、アラウト思ヒマスノハ、或ハサウ云フコトガ間違ガアルカモ知レヌト云フ所カラ、行政裁判ハ許スノデアル、故ニソレガ決定シタ後ナラバ格別、確定致サヌ迄ト云フモノハ、ドウシテモ能力ハ無論アラウト思ヒマス

○(花井卓藏君) 十三條ノ訴願ニ付テモ同様デスカ

○(内務省參事官(窪田靜太郎君)) サウデス

○(花井卓藏君) サウスルト、禁治產ヲ受ケテ居ル精神病者其分ハ取消サルルマデハ、確カニ民法上ニモ訴訟能力ガアル、民事裁判所ニ往テ訴フスル訴

認能力ガアルト云フ御趣意デセウカ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) ドウモ往クマイト思ヒマスナ

○(花井卓藏君) 宜シウゴザイマス、ソレガイケナイト云フコトニナルト、禁

治產ノ宣告ヲ受ケタル精神病者ガ、己ハ精神病者デナイノニ、コンナ精神病

ノ取扱ヲ受ケテ居ルノハイヤダト云ツテ、其救済ヲ裁判所ニ訴ヘベキ場合ハ、

私ハ禁治產宣告ハ取消ノ趣意ヲ以テ、民事裁判所ニ往クベキモノデアルト云

フコトハ前申シテ置イタケレドモガ、ヤハリソレモ汎ク行政裁判所ニ往クモ

ノトナルト、行政裁判所ハ訴訟能力ガナイトシテ、之ヲ拒マナケレバナラヌ、

政府委員モナイト云ハレル、然ラバ行政裁判所ニ於テハ遂ニ精神病者ニアラ

ズト云フコトニ付テハ裁判ヲ、訴訟スルコトガ出來ヌヤウニナリハセヌカト

思フ、其狹イ分ニ付テハ禁治產ノ宣告ヲ受ケタル精神病者ニ對シテハ、其邊

ハドウ云フ都合ニナルカ、ソレダカラ私ハ裁判管轄ニ付テ疑ヲ起スノデア

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 其點ハ第一ニ斯ウ云フコトガアル、禁治產

者ヲ監置スルコトニ付テハ許可ヲ要サナケレバナラヌ、屆出デルソレニ付テ

行政上ノ處分ト云フモノハ起ラヌノデスナ 禁治產ニ付テハ許可ヲ要セン

カラ、ソレニ付テハ起ラヌデス、假ニソレガ起ルヤウナ場合ガアルト假定シタ

ナラバ、ソレハ後見人ガヤルベキモノト思フケレドモ後見人ハ自己ノ監護義

務者デア、サウスルト自分ガ即チソレデヤッタノダト云フコトデアッタナラ

バ、ソレハドウモ何ンデスネ、保護スル人ガナイト云フ譯ニナツテ來ルケレド

モ、ソレハ一面ニ於テ後見監督者ガ監督シナケレバナラヌト云フコトニナル

デ、其場合ニ後見監督者ト云フ者ガ、例ヘバ行政廳ノ處分ニ對シテ、禁治產者

ニ代ッテ行政訴訟ガ出來ルモノカドウカト云フコトマデハ、實ハマダ研究シテ

居リマセヌガ、併ナガラ若シソレデ誰モ禁治產者ノタメニ、冤ヲ訴フル者ガナ

イト云フコトニナツタナラバ、ソレニ此七條ニ依テ行政廳ガ命令ヲシテ往クコ

トヨリ仕方ガナイ、ソレガ行政廳ニモ分ラヌカッタ、マルデ知ラズニ居ッタ

場合デドウカト云ヘバ、ソレハ行政廳ガ知ラズニ居ッタノハ、詰リ不行届ト

云フコトデスナ、成ルベクサウ云フ監督ヲ嚴ニシテ往ク、手落ノナイヤウニ

サセルト云フヨリ外、仕方ガナイト思フ

○(花井卓藏君) 監護義務者ト云フノハ、實質ノ上後見人デスネ、精神病者

ノ後見人デア、所ガ今ノ場合即チ禁治產ノ宣告ヲ受ケテ居ル精神病者ニ對

シテハ、隨分其民法並ニ人事訴訟手續ナド、云フモノガアツテ、法律上ノ關

係ガ定マルケレドモ、此禁治產ノ宣告ヲ受ケナイ方ノ、精神病者ト云フモノ

ニ付テハ、何等ノ規定ガナイ、何等ノ規定ガナクシテ、是ハ行政法ノ一部デア

リマスケレドモ、兎ニ角斯ウ云フコトガ出來テ來タ、出來テ來タ上ニ於テ、

其精神病者ガ法律上ノ詰リ法律ノ權能ヲ行フコト能ハズ 是ハ行政法ダカ

ラ私法ノコトハ暫ク措イデ、公法上ノ法律上ノ裁判ヲ提起スル所ノ能力ト云

置ニ此監護義務者ガ當ルカノ如クニ見ラレル、サウスルト是ハ實質上刑法ヤ
民法ノ法律上代理人ト云フ位置ニ當ツテ居ルモノト見ヘル、サウ見ルト訴
訟能力ト云フモノガ、監護義務者ノ方ニナケレバオカシイ譯ニナリハセヌ
カト云フ感覺ガ起ル、ソレガ精神病者ノ監護義務者ヲ相手取ツテ、訴ヘルト
カ何ト云フ折ニハ別物ダカラ、行政訴訟デア、行政官廳ニ訴ヘナケ
レバナラヌ、其時分ニハヤハリ監護義務者ハ民法ノ後見人ト同ジデア、實
質ノ上ニ於テ法律上代理人デア、御前氣狂ヒデ裁判所ニ來ラレテハ困
ルト云フヤウナコトガ出來テ來ハセヌカト思フ、サウスルト法律上代理人ト
云フガ如キ規定ヲ設ケテ、寧ロサウサシタ方ガ都合ガ宜イカモ知レヌト思フ、
己レハ氣狂ヒデハナイト云ツテ自ラ進ンデ往ク氣狂ヒハ隨分アルカラ、ソ
レガ行政裁判ガ本人デモ訴訟ガ出來ルト云フコトニナルト、ドンノ氣狂ヒ
ガ來テ勝手ナコトヲ言ツテ、行政廳ノ被告人ガ出テ居ルト云フヤウナコト
ニナルト、妙ナコトニナリハセヌカ、禁治產者ニ對シテハヤハリ後見人ガ訴
訟能力ヲ行フガ如ク、一應監護義務者ヲシテ假ノ訴ヲ起シ、冤ヲ救ハセル途
デモ立テルコトガ相當デハナイカト云フ考ガ起ル、自ラ進ンデヤラナケレバ
ナラヌ場合ハ、親族等ガ私ハ精神病者デモナイノニ精神病者ダト言ツテ怪シカ
ラヌト云フヤウナ對人關係ニナル、所ガ行政訴訟ハ官廳ヲ相手ニシテ居ル
ダカラ、毫モ精神病者ノ冤枉ヲ救ハシムルニ不都合ハナイ、却テ其方ガ適當
デア、アルノミナラズ、行政廳ニ於テ一旦氣狂ヒト云フ看板ヲ掛ケラレタ者ヲ、縱
令精神病ト診斷シタノハ不當デア、アルト云フ訴ヲ起シタ所デ、本人ガ自ラ訴訟
スルノ場合ニハ安ンジテ門ヲバ入レマイト思フ、又入レヌ方ニ解釋スルノガ
相當デア、アルマイカ、公ノ席ニ於テ定メラレタル所ノ問題ト云フモノハ、取
消ノアルマデハ一應推測上其通ノモノト見ルノガ法律ノ定則デア、アルカラ、即
チ行政官廳ガ精神病者ト決シタ以上ハ、其取消ノアルマデハ公ノ官廳モ精神
病者ト見ルガ當然ジヤラウト思フ、其時分ニハ監護義務者ガ法律上代理人ト
云フヤウナ資格デ裁判ヲ起シテ、行政官廳ニ取消サスト云フノガ當前ノ順序
デハナイカ、サウスルト禁治產者トノ折合モ付クヤウニナルニモ拘ラズ、此
法律ニ其規定ガナイノハドウ云フ譯カ、尙又序ニ是ハ申シテ置キマスガ、其
規定ヲ之ニ加ヘタナラバ、政府ハ御同意ナサラヌカ、御不同意カト云フコト
モ、修正意見ヲ提出スルタメ參考トシテ、チヨツト伺ツテ置キマス

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 此精神病者ト云フ一ノ銘ヲ打タレタラ、行
政裁判所デハソレヲ相手ニスルコトハ出來マイト云フコトハ、ソレハアルマ
イト思フノハ、第一病者ガソレガサウヂヤナイト云フコトヲ云フテ來ル場合
ト見ナケレバナラヌ、サウスルトソレハ確定シテ居ラヌノデスカラ、ソレガ疑
ハシイト云フコトヲ見ルカラ、ソイツヲ調べテヤラウト云フタメノ役所デア
ルカラ、ソレハ其裁判ガ決定ヲシマスレバ、伊ザ知ラズ、其決定スルマデト云フ
モノハ、ソレヲ頭殺シニヤツテシマウト云フコトハアルマイト思ヒマス、ソ
レトモウ一ツハ御尋ノ法律上ノ代理人ノ御話デ言ヒマスレバ、是ハ一體ニ公

法ニ付イテハ公法上ノ能力者、無能者ト云フコトハ定メテナイデアリマスカラシテ、或法律ナドニハ例ヘバ市町村制ト云フモノニ付イテハ、民法上ノ能力ノ規定ヲ取ツテ來テ、ソコデ其事柄ニ付イテノ無能力者ヲ定メテアル、併ナガラ一體ニハ公法上ノ能力ト云フモノハ定マツテナイ、之ヲ代表スルコト云フコトノ規定モ、一般ニハナイ、ソコデ今日マデノ實際ノ取扱デハ此訴願ナドニ付イテハ、未成年者ノ訴願ハヤハリ取上ゲナイト云フコトニ、ソリア慣例デ取扱ツテ居ルケレドモ、何故ニ未成年者ハ訴願ガ出來ナイカ、未成年者ガ無能力者デアルト云フコトハ、民法上ノ爭シヤアナイノデゴザイマス、爭ニナツテ來レバ如何トモ致方ガナイデス、ソレト同ジコトデ、是ガ精神病者ダト云フコトニナツタナラバ、公法上ノ無能者デアアル、ソレカラシテ從ツテ公法上ノ代表者ト云フモノヲ見ネバナルマイ、斯ウ云フ問題ハ恰モ幼者ニ付イテ、一躰ノ公法上ノ問題ヲ定メルノト牽連シテ居ル問題デアリマス、ソコマデハ本法デ必ズシモ立入ラナクツテモ、幼者未成年者ト云フヤウナモノニ付イテハ、一躰ノ關係ヲ定メルコトハ別ニ致シマシテ、訴願ナドノ事實上ノコトハ、從來ノ慣例ニ依テ行クコトガ宜カラウト思ヒマス

○(花井卓藏君) 今ノ御説明ニ依ルト、裁判ノ定マルマデハ未定デアアル、サウスルト此行政廳ノ許可ト云フモノハ、屁ノ如キモノデアルデスナ、己ハ行政廳ガ許可シテ精神病者ヂヤト言ツタケレドモ、マダ裁判ニ訴ヘテ確定スルマデハ何デモナイ、サウスルトアナタノ斯ク精神病者ニ至ラヌ者ニ、之ヲ適用スルコトハ出來ナクナリハシナイカ、形式上行政廳ノ許可ト云フモノハ重イモノトナツテ、其方ニ眞ヲ措イテ監護義務者ヲ定メルト云フコトニ見ナケレバナラヌノガ、サウスルト云フコトニナル、折角此監護ノ法律ヲ設ケマシテ、公衆ノ危險ヲ防ガル目的ニハ、ソレニハ適フマイト考ヘルデスガ、ソレデ此法律ニハ掲ゲテナイガ、公法上ノ定則若クハ一般ノ法律ノ原則トシテ、監護人ナル者ガ苟モ監護スル以上ハ、監護ニ伴フ能力ヲ有ツ者ダカラ、間違ツタト云フテ出訴ガ出來ルモノデアルト云フ事柄ニナレバ、ドウカ知レマセヌガ、サウデナケレバ行政廳ノ認可ト云フコトガ、餘程輕クナリハシナイカト云フ疑ガアル、裁判ハイツ起スノカ分ラヌ、期間ハナイノデスカラ

○(内務省參事官(窪田靜太郎君)) 期間ハ一般行政裁判法デ極ツテ居リマス
○(花井卓藏君) 極ツテ居ルガ、一般ノ行政裁判法ヲ準用スル規定ハナイ、一般ノ行政裁判法ノ規定ヲ準用スル事柄ガアルト云フト、此十二條十三條ト云フヤウナモノハ、此處ニ規定シナクツテ宜イノデアアル、茲ニ規定シタト云フモノハ、一般行政裁判法ノ中ニナイモノデアアルカラ茲ニ規定シタノデアアル、アナタノ云フガ如ク、一般行政裁判所ノ期間ガ書イテアルモノハ、茲ヘ持ツテ來ラレナイト思フ、サウスルト無期限ト解釋シナケレバナラヌ

○(内務省參事官(窪田靜太郎君)) ソレハ無期限ヂヤアナイデス、他ノモノヲ後ヨリ附加ヘサヘスレバ宜イデス、是ハ詰リ之ニ制限ヲ加ヘル積リデス、ソレデ他ノ法律ニハ期限ヲ——市町村制ナドニハ書イテアルデス、期間ナドハ

ソレハアノ時分ニハ行政裁判法ナドト云フモノモアリマセヌカラ、ソレデ行政裁判法ヨリ前ニ出來タモノデ前ノモノニハ特ニ長クスル必要ガアルトカ、短クスル必要ガアルトカ認ムレバ格別、然ラズンバ一體ニ書イテ居ラヌデス
○(花井卓藏君) ソレカラシテ、此詰リ行政裁判法ノ列記法ニナツテ居ル、此十二條ト云フモノハ這入ツテ行クノデスカラ、ソレハ市町村モ列記ニ這入ツテ行ク、斯ウ云フコトニナラナケレバナラヌ、所ガ其期間ト云フモノハ格段ナル法律ガアルガタメニ、其法律ニ基キタル期間ニ依ル、此分モヤハリ格段ナル法律デアアル、期間ト云フモノハヤハリ市町村制同様に加ヘナケレバ惡ルイト思フ、法律ガ前ニ出レバ差支ガナイ、後ニ出タ分ハ差支ガアルト云フノハ、可笑シイヂヤアリマセヌカ

○(内務省參事官(窪田靜太郎君)) ソレハ市町村制ニハ特ニ書イテアルカラ、特ニ明文ガアル以上ハ、一般行政裁判法ノ規定ガアツテモ、ソレハ本法ニ依ルガ當リ前ダカラ、ソレデ往ク、行政裁判法ニ書イタ期間ヲ以テ満足シナイ、モウ少シ長クスルトカ短カクスルトカ云フ必要ガアレバ格別デスカレドモ、其必要ハ認メヌダカラ、大抵ソコマデ書イテアルモノハ、私ハナイト思フ

○(花井卓藏君) ソレハ分リマシタ、サウスルト前ノトハ違ツテ來タンド、必要ガアレバ明文ニ掲グルノガ原則ダケレドモ、是ハ必要ガナイカラ本法ノ方ニ依ルンダト、斯ウ云フ趣意ニナルンダカラ……

○(内務省參事官(窪田靜太郎君)) ソレハ斯ウ云フタノデス、市町村制ハ前ニ出來タカラ、一般行政裁判法ノ日ニチガ必要ガアツタカナカッタカ分ラヌケレドモ、免ニ角前ダカラ日ニチヲ定メナケレバナラヌト云フ意味ニ申シタノデス

○(花井卓藏君) ソレカラチヨット十四條二十六條ニソレカラ十七條二十八條十九條二十條是ヘ持ツテ往ツテ、刑ノ短期ヲ定メルト云フ事柄ニ修正ヲ致シタイト思ヒマスガ、御同意ニナリマスカドウカ、モウ一ツハソレガ出來ヌナラバ、第十五條ノ刑法二百八十六條ノ例ニ照シテ處斷スト云フ文ヲ、ヤハリ刑期ノミヲ規定シテ、即チ二百八十六條ヘ其儘持テ來テ、二年以下ノ重禁錮ニ處シ五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス、斯ウ云フ事柄ニ修正シテ權衡ヲ同ジヤウニスルト云フ趣意ニ修正シテ、御同意ガ出來マスルカト云フ事柄ヲ一ツ、ソレカラモウ仕舞デゴザイマスカラ、序ニ一緒ニ御尋申シテ置タイ事柄ハ、第十七條ノ第一項ニ「許可ヲ受ケス又ハ届出ヲナサス若クハ命ヲ受ケスシテ精神病者トシテ人ヲ監置シタル者」ト書イテアル、此事ハ二箇月以下ノ重禁錮ニ處シ貳拾圓以下ノ罰金ヲ附加セラル、ノデアアル、或ハ罰金ノミデ獨立シタル罰金ノミデ、百圓以下ノ罰金ニ處セラル、ト云フ事柄ガ規定セラレテアル、此十七條ノ第一號ハ取りモ直サズ、制縛監禁ナノデアアル、不法監禁ナノデアアル、ソレハ刑法ノ第三百二十三條「擅ニ人ヲ監禁制縛シテ毆打拷責シ又ハ飯食衣服ヲ屏去シ其他苛酷ノ所爲ヲ施シタル者ハ、二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ參圓以上參拾圓以下ノ罰金ヲ附加ス」斯ウ書イテアル、ソレト權衡

ヲ得ルト云ノト、一年以下ト二箇月以下ノ差ガアル、是ハドウ云フ譯デス
ウ云フ風ニナツタノデアルカ、此三百二十三條ト權衡ヲ得ルヤウニ修正シテ
モ、御同意ガアルカドウカ、斯ウ云フ事柄ト或ハ斯ウ説明ガアルデアラウト
思フノハ、三百二十二條ト云フ法文ガアル、ソレハ「擅ニ人ヲ逮捕シ又ハ私
家ニ監禁シタルモノハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ貳圓以上貳拾圓以
下ノ罰金ヲ附加ス但監禁日數十日ヲ過クル毎ニ一等ヲ加フ」是レト合ハスタ
メニ拵ヘタト云フ御説明ガアルト思フ、誠ニソレハ能ク合フノデアル、合フ
ケレドモ是ハナンデモナイ場合ニ於テ、人ヲ逮捕シタトカ、人ヲ監禁シタトカ
ト云フコトニ當ルノデアル、即チ何等ノ文句ヲ付ケズニヤツタ場合ノ處分デ
アル、然ルニ十七條ノ一號ハ人ヲ檻置スルニ名ヲ設ケテ、氣狂イデモナイモノ
ヲ氣狂デアル、精神病デナイモノヲ精神病者デアルト惡名ヲ付ケテ、サウシテ
監禁スル場合ニ當ルノデアルカラ、ヤハリ二百二十三條ノ方ノ部分ニ當ラナ
ケレバナラヌノデアル、而シテ精神病者トシテ苛酷ノ所爲ヲ施スモノデアル
カラ、或ハ刑ガ輕キニ失シヤセヌカト思フノデアル、是ハ所謂相馬事件ナド
ト云フモノモ、事實ノ真相ハ私共分ラヌケレドモ、斯ノ如キ大事件ノ起ツタ場
合ニ、ヤハリ二月以下ノ重禁錮貳拾圓以下ノ罰金ヲ濟ムト云フコトハ、如何
ニモ私ハ取締ノ上ニ於テモ不都合デナイカト云フ感覺ガ起ルノデアル、即チ
三百二十二條ヲ其儘此處ニ持ツテ來タノヲ、其次ノ條文三百二十三條ニ引換
ヘルコトハ、一躰出來ルカドウカト云フコトヲ御尋申シタイ、是デ大抵質問ヲ
終ルノデアリマスカラ、チヨットソレダケヲ——修正ナリ質問ナリ意見デス
ガ……

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 始メノ御尋ノ十四條ト十六條ノ短期ヲ定
ルカ、若クハ十五條ノ二百八十六條デ、ヤハリ此處モ二年以下ト云フコトニ
書キ上ゲルカト云フコトノ御説ニ付キマシテハ、前ニ御尋ニナツタトキニ御
答申シタト同ジヤウナ風ニ、是ハヤハリ願クハ此通りニシテ置イデ戴キタ
イ、事實ニ於テ差支ナシ、左程ノドウモ事ハアルマイト思フ、ソレカラシテ
十七條ノハ是ハドウモ人ハ縛ッテ毆ツタト云フヤウナモノトハ、同ジヤウニ
ハドウモ是ハ言ヘマイト思フ、ソレデ此方モ何年以下ノ重禁錮ニ處スルト云
フヤフナコトノ御修正ハ、是ハ御同意申スコトハ出來ナイノデアリマス
○(花井卓藏君) ソレカラ第二十二條デスナ、外國人タル精神病者ノ監護ト
云フコトニ付イテ、之ヲ命令ニ讓ラレタノハドウ云フ譯デアルカ——命令ニ
委任サレタノハ……

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 外國人ニ付キマシテハ、既ニ昨年發布ニナ
リマシタ行旅病人死亡取扱法ニ於キマシテモ、特ニ是ダケノ委任ヲ取ツテ置
キマシテ、サウシテソレニ付イテ命令モ發布ニナツテ居リマス、外國人デア
リマスルト云フト、其者ガ相當ノ資格ガアリ監護義務者ガアルモノデアレバ
宜シイガ、サウ云フモノデナイ場合ニ付キマシテハ、其場合ニ外國ノ領事等
ヘ打合セヲ致スト云フコトノ必要モ或ル場合ニハアリヤセウナ、又之ヲ何時

マデ日本デ市町村長ニ監護ヲ任スト云フコトガ、是ガ未來永劫其筆法デヤツテ
イクカ、或ハナニカ相當ノ締リヲ付ケテ外國ニ送り歸ス手續ヲ求メルヤウナ
コトノ必要ガアルカト思フノデゴザイマス、其點ハ詰リ行旅病人ト同ジ次第
ナノデアリマス、ヤハリ其特例ヲ設ケルダケノ餘地ヲ存シテ置カナイト云フ
ト、困ル場合ガ出テ來ヤウカト思フ、斯ウシマシタノデゴザイマス

○(花井卓藏君) チヨット終リノ條文第二十三條デス、第二十三條ニ依ッテ
見ルト、此十二條ニ付イテ私ハ疑ヲ起シマシテ、政府委員ガ御答ニナツタ事
柄ガ間違ッテ居ナイカト云フ事柄ヲ發見セラル、ノデアリマスガ、此十二條ノ
場合ニ於テ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ベキ場合ハ、重ニ氣狂デナイノニ
氣狂ダトシテ、斯ウ云フコトヲサレルト云フコトハ不都合デアルカラ、其許
可ヲ取消シテ吳レト云フ訴ガ出來ルト云フ一ツ例ヲ取ラレタノデアルガ、所
謂精神病者ハ二類アルノデアリマス、即チ第一類ハ禁治產ノ宣告ヲ受ケザル
モノ、又第二類ハ禁治產ノ宣告ヲ受ケタル者、斯ウ云フ風ニ法律ガ區別ヲシ
テアル、第二類ニ屬スル方ニ向ッテハ、人事訴訟手續法ノ第六十條ヲ讀ンデ
見ルト、斯ウ云フコトガ書イテアル、裁判所ガ第五十五條第一項ノ訴ヲ理由
アリト認ムルトキハ、禁治產ヲ宣告シタル決定ヲ取消スベシ、此場合ニ於テ
ハ判決ノ確定ニ至ルマデ、禁治產者ノ監護又ハ其財產ノ保存ニ付キ必要ナル
處分ヲ命ズルコトヲ得ト書イテアル、サウシテ此五十五條ノ第一項ヲ讀ンデ
見ルト、斯ウ書イテアル、第五十五條民法ノ規定ニ依リ禁治產ノ申立ヲナス
コトヲ得ル者ハ、其宣告ニ對シ一ヶ月内ニ訴ヲ以テ不服ヲ申立ルコトヲ得、已

レハ精神病者デナイノデアアル、然ルニ精神病者デアルトシテ、民法第七條ノ
心神耗弱デアルトシテ、禁治產ノ決定ヲ受ケタ不都合デアル、短ク言ヘバ己
レハ精神病者デナイニ、精神病者ト云ツタノハ不都合デアルト云フ場合ニ於
テハ、其宣告ニ對シ一ヶ月内ニ訴ヲ以テ不服ヲ申立ルコトガ、五十五條ニ
掲ゲテアルノデアアル、此訴ハ民事裁判ニ屬スベキ訴デアル、サウシテ六十條
ト云フモノ、規定ト云フモノハ、此本法即チ精神病者監護法トシテ關係ヲ持
タナイガ、本法ノ規定ヲ適用スト二十三條ニ書イテアル、ヤハリソレハ其例
ヲ維持シテ十二條ト云フモノハ、解釋ガ付クト云フ趣意ニナルノデスカ
○内務省參事官(窪田靜太郎君) 敢テ例ニ舉ゲタノデアリマスカラ、本法ノ
十二條ニ付イテ其意味サヘ分リマスレバ宜シイノデアリマスカラシテ、強チ
ソレヲ固執スル譯デハアリマセヌガ、併ナガラナンデスヨ、人事訴訟手續法
ノ五十五條ハ禁治產ノ申立ニ對シテ不服デアル、行政訴訟ニシテソレカラ
人事訴訟手續法ニ依リ訴訟ニシテモ、己レハ精神病者デハナイゾト云フ主張
ヲスル訴訟ジヤナイ、ソレハ理由デアッテ訴ノ目的ハ一方ハ禁治ヲ止メルト
云フ訴、一方ハ許可ヲ止メルト云フ訴デアルカラ、ソレ故ニ權置ノ許可ヲ止
メテ吳レト云フコトナラバ、行政裁判所、禁治產ナラバ民事裁判所ニ持ッテ
行クト云フコトニナル

○(花井卓藏君) 禁治產ヲ止メテ吳レト云フノハ、取リモ直サズ禁治產ヲ

受クベキモノデナイノニ、禁治産ヲシタカラト云フノデア、精神病者デナイカラ止メテ貫ヒタイト云フ訴ヲ起ス、ソレガ民事裁判所ニ行ク精神病者デアルカ、禁治産ヲスベキモノカ、ドウカハ離ルベカラザル關係ガアルカラ、ドウシテモ民事裁判所ニ行カナケレバ、行ク場所ガナイト思フ

○内務省參事官(窪田靜太郎君) 理由ハ或ハ間違ッタカモ知リマセヌ、間違ハヌ積リデハアルガ、併ナガラ畢竟何ニモ精神病者デアルトカナイトカ云フコトガ、一方ノ民事裁判所ニ行キ、或ハ行政裁判所ニ行クト云フコトデナク、禁治産ト云フコトデアレバ、民事裁判所ニ行キ、檻置ト云フコトナラバ行政裁判所ト云フ、主タル請求ニ依ッテ違ヒデアルト云フコトニ考ヘテ居ルデス

午後七時十四分散會

(參照)

○精神病患者取扱心得 明治二十七年四月警視廳訓令第二十五號

精神病患者取扱心得左ノ通之ヲ定ム

精神病患者取扱心得

第一條 精神病患者ヲ看護治療ノ爲メ制縛若クハ鎖鑰シ又ハ官立公立私立病院ヘ入レンカ爲メ届出ツルモノアルトキハ警察署ヨリ伴ヒ患者ノ所在ニ就キ詳細調査ノ上其必要アリト認メタルトキハ認可書ヲ下付シ其疑ハシキモノハ狀ヲ具シテ指揮ヲ受クヘシ

第二條 認可書ヲ下付シタルトキ及制縛鎖鑰ヲ解キ又ハ退院ヲ届出タルトキハ其都度第二部ヘ通報シ若シ制縛鎖鑰ノ地若クハ私立病院他警察署又ハ警察分署ノ管轄ニ屬スルトキハ該署ヘモ通報スヘシ

第三條 制縛鎖鑰及私立病院ニ入院ヲ認可シタルトキハ時々出張シテ患者ノ取扱等ヲ視察シ若シ事故アルトキハ病狀ヲ具シテ指揮ヲ受クヘシ但苛酷ノ處置アルヲ聞知シタルトキハ直チニ出張シテ査察スヘシ

第四條 警察署警察分署ハ毎月三日マテニ前月中制縛鎖鑰及入院セシメラレタル患者ノ員數ヲ調査シテ第二部ヘ通報スヘシ

第五條 途上ノ精神病患者ニシテ引取人ナキトキハ管轄ノ自他ニ拘ラス警察署ノ診斷ヲ經狂暴ノ虞アルモノハ之ヲ東京府所轄巢鴨病院ニ護送シ其事由ヲ第二部並ニ本人ヲ認メタル地ノ區役所又ハ町村役場ヘ通報スヘシ

○精神病者制縛鎖鑰又ハ入院手續 明治二十七年四月警視廳訓令第二十五號

精神病患者ヲ看護治療ノ爲メ制縛若クハ鎖鑰シ又ハ官立公立私立病院ニ入レントスル者ハ其事由ヲ詳記シ親族(親族ナキモノハ二名以上連署シタル書面ニ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ所轄警察署又ハ警察分署ニ届出テ認可ヲ受クヘシ其制縛鎖鑰ヲ解キ又ハ退院セシメタルトキハ三日以内ニ該警察署又ハ警察分署ニ届出ツヘシ犯シタル者ハ一日以上十日以下ノ拘留又ハ五錢以上一圓九

十五錢以下ノ科料ニ處ス但明治十七年一月第三號布達ハ廢止ス

○認可ヲ受ケサル瘋癲人入院不相成件 明治十七年十二月警視廳乙第七十二號達

今般甲第十五號(本號ハ十七年布達甲)布達候ニ付テハ目今認可無之患者ハ入院セシムル儀不相成候條此旨私立瘋癲病院ヘ相達スヘシ

○瘋癲病院ヘ視察ノ爲メ主務官吏派遣ノ件 明治十七年一月警視廳乙第一號達

自今私立瘋癲病院ヘ患者視察ノ爲メ臨時主務ノ官吏ヲ派遣シ且出入人員等調査セシム可ク候條此旨豫メ該院ヘ告示スヘシ

○瘋癲人ヲ取扱タル警察署ヨリ區役所戸長役場ヘ通知件 明治十五年十二月東京府丙第四十一號達

本年當廳丙第三十四號ヲ以テ途上重症患者取扱方相達置候處途上瘋癲人ノ儀ハ警察署ヨリ直チニ本府瘋癲院ヘ護送ノ上其事由該患者見認候地ノ區役所又ハ戸長役場ヘ通知答ニ候條此旨相達候事

但入院料等癲狂院ヨリ請求ノ節ハ本文丙第三十四號達但書ノ通可取計儀ト心得ヘシ

○東京府巢鴨病院ヘ治療又ハ自費入院出願手續 明治二十七年四月東京府告示第三十二號

依リ出願スヘシ 一治療入院願書ニハ親族(親族ナキトキハ二名以上連署シ患者居住地ノ警察署又ハ警察分署ノ認可書ヲ添ヘ所轄郡區役所ヲ經營廳ヘ出願スヘシ

一自費入院願書ニハ親族(親族ナキトキハ二名以上連署シ患者居住地ノ警察署又ハ警察分署ノ認可書ヲ添ヘ直ニ該院ニ出願スヘシ

○在監人及別房留置人刑期滿期ニ至リ傳染病若クハ精神病ニ罹リ引取人無之節取扱方 明治二十九年四月警視廳令第一四號

在監人及別房留置人刑期滿限放免ノ際傳染病ニ感染シ居ルトキ若クハ精神病其他重病ニ罹リ交附スヘキ親族故舊又ハ引取人ナキトキハ監獄署監獄支署ヨリ之ヲ其所在地ノ所轄警察署ニ引渡シ警察署ニ於テ傳染病者ハ避病院ヘ精神病者ハ巢鴨病院ニ重病者ハ養育院ニ送致シ警察署及監獄署ヨリ各其事由ヲ詳記シ届出ヘシ但八王子警察署ニ在テハ精神病者ノ外總テ其地ノ町役場ニ引渡スヘシ明治二十二年十二月訓令第九十二號ハ廢止ス